I-O DATA

IEEE 1394/USB 2.0 デュアル インターフェイスボード

1394US2-PCI シリーズ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

111383-03

弊社は、お客様が以下の【使用許諾条件】および【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

【使用許諾条件】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器と提供者の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
3) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
4) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
5) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません

【ご注意】

1) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
2) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
3) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
4) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●i.LINKならびにi.LINKのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ i
必ずお守りください iii
呼び方やマーク vii

はじめに 1

箱の中には 2
動作環境 3
接続する機器について 6
各部の名称・機能 8
取り付けよう 10
お使いの OS は？ 16

Windows XP でお使いの場合 17

使えるようにしよう 18
USB 機器を接続しよう 26
1394 機器を接続しよう 28

Windows 2000 でお使いの場合 31

使えるようにしよう 32
USB 機器を接続しよう 45
1394 機器を接続しよう 47

Windows Me でお使いの場合 49

使えるようにしよう 50
USB 機器を接続しよう 56
1394 機器を接続しよう 57

Windows 98 SE でお使いの場合 59

使えるようにしよう 60
USB 機器を接続しよう 79
1394 機器を接続しよう 80

ふろく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８３

困ったときには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。

火災・感電・動作不良の原因となります。

修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因となります。
- 指定されたスロットに水平（垂直の場合もあります）に入れ、奥のコネクタまできちんと差し込んでください。

  正しく装着されていないと火災および故障の原因となります。


厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は必ず本書に従って、取り付け、取り外しを行ってください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

⚠ 注意


厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。
また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。


注意

本製品には裏面にハンダ付けの跡があり、とがっています。

誤って手などをけがしないように、取り付け・取り外しの際は本製品の両端を持ってください。


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。


禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。


注意

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

呼び方やマーク

本書では、以下の呼び方やマークを使用しています。

● 呼び方

呼び方	意　味
USB 1.1 ポート	USB 1.1 に対応した USB ポート
USB 2.0 ポート	USB 2.0 に対応した USB ポート
USB ポート	USB 1.1 ポート,USB 2.0 ポートの総称
USB 1.1 機器	USB 1.1 に対応した USB 機器
USB 2.0 機器	USB 2.0 に対応した USB 機器
USB 機器	USB 1.1 機器,USB 2.0 機器の総称
1394	IEEE 1394-1995 および IEEE 1394a-2000 の略称
i.LINK	IEEE 1394-1995 仕様およびその拡張仕様の名称として SONY が提唱している呼称
1394 機器	1394 および i.LINK に対応した機器
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System, Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows XP/2000	Windows XP,Windows 2000 の総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98 SE	Windows Me,Windows 98 SE の総称
Windows	Windows XP/2000,Windows Me/98 SE の総称

● マークの説明



注意
本製品を使う上で注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で役に立つことが書かれています。



参照
参照していただきたいページが書かれています。

Memo

はじめに

箱の中には

箱の中のものを確認します。
2ページ

▼

動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。
3ページ

▼

接続する機器について

本製品に接続する機器について説明します。
6ページ

▼

各部の名称・機能

コネクタの名前と機能を説明します。
8ページ

▼

取り付けよう

本製品を取り付ける手順について説明します。
10ページ

▼

お使いの OS は？

お使いのOSに合ったページを案内します。
16ページ

箱の中には

箱の中のものを確認します。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

箱・梱包材は

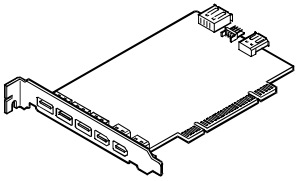
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

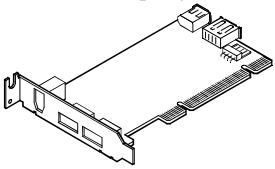
実物と若干異なる場合があります。

□ **本製品（１枚）**

・[1394US2-PCI]の場合



・[1394US2-PCIL]の場合

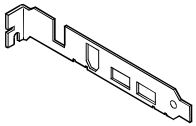


□ **1394US2 シリーズ サポートソフト（１枚）**



□ **PCI 用金具（１個）**

※ 1394US2-PCIL のみ添付



☑ **1394US2-PCI シリーズ取扱説明書(本書：１冊)**

□ **ハードウェア保証書（１枚）**

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている 12 桁のものです。(例： ABC1234567ZX)

シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

●対応機種および対応 OS

機種※1※2※3※4	ＯＳ（日本語版のみ）
・PC98-NXシリーズ※5 ・DOS/Vマシン※6※7	Windows XP※8 Windows 2000※9 Windows Me Windows 98 SE※10

※1 PCI 2.1 以降に対応した PCI バススロットに空きがあること。
ただし、1394US2-PCI は Low Profile PCI には対応していません。
※2 NEC PC-9821 シリーズでは、ご使用いただけません。
※3 SiS530 チップセット搭載パソコンの場合は、16bit カラーモードでご利用ください。
（次ページ参照）
※4 VIA 製チップセット搭載パソコンの場合は、ご使用いただけません。
※5 Fine NX を除きます。
※6 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認をしています。
※7 以下の機種を除きます。
富士通社製　FMV DESKPOWER SE (FMV-5133DPS)、および FMV DESKPOWER SP (FMV-5150DPS)
Compaq 社製　99 年秋冬モデル Presario 3566/3567/3576/3581/3590
2000 年春モデル Presario 3560/3562/3570/3580
EPSON 製　EDiCube TC535MN、TC535MR、TC535MRN、TC535LN、TC535LR、TC535LRN
※8 Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバソフトを使用する場合、Service Pack 1 以降が必要です。
⇒詳しくは【Windows XP ServicePack1 をダウンロードする】(10 ページ)をご覧ください。
入手できない場合は、同梱の弊社製サポートソフトをインストールしてください。
⇒詳しくは【Windows XP でお使いの場合】(17 ページ)をご覧ください。
※9 本製品を使用する上で必要なソフトウェア(ドライバソフト)は、Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバソフトを「Windows Update」よりインストールしてください。
インターネットに接続できない場合は、同梱の弊社製サポートソフトよりインストールしてください。　⇒詳しくは【Windows 20000 でお使いの場合】(31 ページ)をご覧ください。
※10 本体標準で 1394 ポートを搭載している機種では対応外です。

注意

・本ボードは、Windows XP, Windows 2000, Windows Me および Windows 98 SE に対応しています。
※Windows 98 をお使いの場合は、Windows 98 SE へのアップグレードが必要です。(Windows 98 SE の確認方法は 5 ページ参照)
Windows 98 を含む他の OS から、Windows XP, Windows 2000, Windows Me および Windows 98 SE への変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびに OS メーカー各社へお問い合わせください。
・本製品を同時に複数枚取り付けることはできません。
複数枚取り付けた場合の使用については、動作保証いたしかねます。
・パソコンのスタンバイ・休止状態などの省電力機能を使わないでください。
本製品は、ACPI 機能には対応しておりません。

●スタンバイモードでの制限事項

本ボードは、パソコン（Windows）のスタンバイモードおよび休止状態には対応しておりません。

Windows のスタンバイモードは使用しないでください。

※以下の個所を参照して設定を無効にしてください。

・Windows XP → 25 ページ

・Windows 2000 → 44 ページ

・Windows Me → 55 ページ

・Windows 98 SE → 78 ページ

また、[スタート]ボタン→[Windows の終了]（Windows XP は［終了オプション]、Windows 2000 では[シャットダウン]）での「スタンバイ」は実行しないでください。

パソコン本体およびキーボード上のスタンバイ機能のスイッチ(ボタン)も使用しないでください。

●SiS530 チップセット搭載パソコンでの制限事項

SiS530 グラフィックチップセットは 32bit カラーでのオーバーレイに対応していません。（以下の表参照）

このような環境で本ボードをご使用の際は、**16bit カラーモード**でご使用ください。

《SiS530 搭載機種一覧》

メーカー	機種名	
NEC	Mate NX R	MA35L/RZ　MA35L/R5　MA35L/R7　MA35L/RH
	VALUESTAR NX R	VR35L/75C,D　VR35L/85D　VR400M/7ZC,7ZD VR400M/77C,77D　VR400M/85D　VR400M/87D
富士通	FMV-DESKPOWER FMV5350ML3	ME355　ME35B
IBM	Aptiva	10J（2165-0J4,0J5）　11J（2165-1J4,1J5） 12J（2165-2J4）　15J（2165-5J4,5J7,5JT） 16J（2165-6J4,6J7,6JT）

●Windows 98 SE の確認方法

① [マイコンピュータ]を右クリックし、表示された [プロパティ] をクリックします。

② [全般]タブで[システム]欄に **“Microsoft Windows 98 Second Edition”** と表示されていれば、Windows 98 SEです。



●本製品の基板裏面（ハンダ面）について

従来生産工程において、ハンダ面に施した表面処理を洗浄しておりましたが、近年の環境面への配慮から工程を省略しております。このため、ハンダ面に多少のざらつきがありますが、まったく問題なく安心してご使用いただけます。

接続する機器について

本製品に機器を接続する場合、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、または Windows の正常動作の妨げとなります。
必ず、機器に付属の取扱説明書、および、以下の注意事項をお読みください。

●接続できる機器に関して

以下の機器を接続できます。

- USB 機器　※本製品は、USB 2.0/1.1 どちらの機器にも対応しています。
- 1394 機器（DV 機器含む）

注意

- 弊社製 USB 2.0 ドライバをお使いの場合で、USB 機器のストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）では、USB 1.1 として動作します。
- USB 2.0 対応のハブを USB 2.0 のハブとして使用するには、Windows XP/2000 で Microsoft 社製の USB 2.0 ドライバソフトを使用する必要があります。
  Windows XP/2000 で弊社製ドライバソフトを使用した場合、および、Windows Me/98 SE でお使いの場合は、USB 1.1 のハブとして動作し、また、接続した USB 機器も USB 1.1 機器として動作します。
- パソコン本体の性能（CPU速度、ハードディスクの転送速度、グラフィックボード、その他使用状況など）によっては、接続したDV機器からの映像のキャプチャやDV機器への書き戻しの際、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。
- DV機器を使用する場合は、DV機器を操作するアプリケーションソフトの動作環境もご確認ください。
  ※本製品には、DV機器を操作するアプリケーションは添付しておりません。
- D-VHS、CSチューナーなどには対応しておりません。

・本製品に USB キーボードを接続する場合

一般に、USB 機器は Windows が起動した後で使えるようになります。
そのため、USB キーボードは Windows 起動前は使えません。
ただし、本製品を使えるようにする作業にはお使いいただけます。

USBキーボードで使えない機能例

- パソコンのBIOS設定
- 接続している周辺機器のBIOS設定
- Windowsのセーフモード
- OS をインストール中の操作

●機器の接続、取り外しおよび使用方法について

本製品に接続する接続機器の接続、取り外しおよび使用方法については、接続機器の取扱説明書を参照してください。



・接続機器は、電源を入れてから本製品に接続してください。
接続機器の電源を切った状態で本製品に接続すると、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
・接続機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の接続機器を接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
また、1394 機器の動作中に他の接続機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

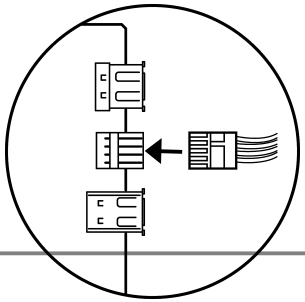
※接続機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから接続機器の電源を入れ直し、接続機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各接続機器の取扱説明書もご覧ください。
※アプリケーションなどから接続機器が認識されない場合は、Windows を再起動してお試ください。

各部の名称・機能

●1394US2-PCIの場合

内部電源入力端子

電源変換ケーブルにより、パソコン本体の電源と接続し、1394 機器に電源供給を行います。バスパワーでご使用の場合は、必ず電源ケーブルを接続してください。
接続せずに使用した場合、パソコンを破損する恐れがあります。(以下の注意も参照してください。)



外部 USB ポート

外部 USB 機器を接続します。

内部 USB ポート

内部 USB 機器を接続します。弊社製「GV-FRONT」の USB コネクタと接続すれば、GV-FRONT の USB コネクタが有効になります。(14 ページ参照)
※ 別途 USB 2.0 ケーブル A プラグ・B プラグ)が必要です。

内部 1394 ポート(6 ピンタイプ)

内部 1394 機器を接続します。
弊社製「GV-FRONT」の 1394 コネクタと接続すれば、GV-FRONT の 1394 コネクタが有効になります。
(14 ページ参照)
※ 別途 1394 ケーブルが必要です。

外部 1394 ポート(6 ピンタイプ)

外部 1394 機器を接続します。
別途ケーブルが必要です。(以下の注意も参照してください。)

注意

・接続ケーブルについて

本製品には、USBおよび1394ケーブルは添付しておりません。別途ご用意ください。

・4ピンタイプの外付1394機器(主にDV機器)をご利用の場合…

機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔4ピン)が別途必要です。

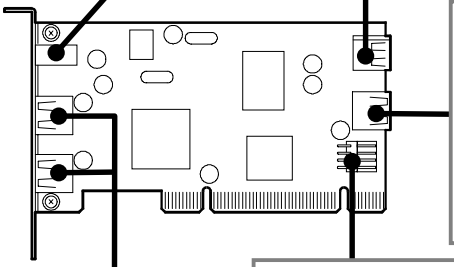
・内部電源入力端子をご利用になる場合(内部1394機器利用時)…

本製品はパソコン本体から電源を取り、1394機器に対し電源供給を行うよう設計されています。そのため、パソコン本体側の電源供給能力によっては仕様を満足できない場合があります。
電源変換ケーブルは別途ご用意ください。

●1394US2-PCIL の場合

外部 1394 ポート（6 ピンタイプ）
外部 1394 機器を接続します。
別途ケーブルが必要です。
（以下の注意も参照してください。）

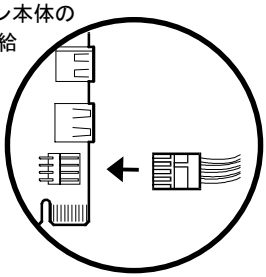
内部 1394 ポート（6 ピンタイプ）
内部 1394 機器を接続します。
弊社製「GV-FRONT」の 1394 コネクタと接続すれば、GV-FRONT の 1394 コネクタが有効になります。
（14 ページ参照）
※ 別途 1394 ケーブルが必要です。



内部 USB ポート
内部 USB 機器を接続します。弊社製「GV-FRONT」の USB コネクタと接続すれば、GV-FRONT の USB コネクタが有効になります。（14 ページ参照）
※ 別途 USB 2.0 ケーブル A プラグ・B プラグ）が必要です。

外部 USB ポート
外部 USB 機器を接続します。

内部電源入力端子
電源変換ケーブルにより、パソコン本体の電源と接続し、1394 機器に電源供給を行います。
バスパワーでご使用の場合は、必ず電源ケーブルを接続してください。接続せずに使用した場合、パソコンを破損する恐れがあります。（以下の注意も参照してください。）



注意

・*接続ケーブルについて*
本製品には、USBおよび1394ケーブルは添付しておりません。別途ご用意ください。
・*4ピンタイプの外付1394機器（主にDV機器）をご利用の場合…*
機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル（6ピン⇔4ピン）が別途必要です。
・*内部電源入力端子をご利用になる場合（内部1394機器利用時）…*
本製品はパソコン本体から電源を取り、1394機器に対し電源供給を行うよう設計されています。そのため、パソコン本体側の電源供給能力によっては仕様を満足できない場合があります。
電源変換ケーブルは別途ご用意ください。

取り付けよう

本製品を取り付ける手順について説明します。以下の個所へお進みください。

・*Windows XP でインターネットに接続できる場合* → 以下へお進みください。
・*Windows XP でインターネットに接続できない、または*
Windows XP 以外をお使いの場合 → 12 ページへお進みください。

Windows XP Service Pack1 をダウンロードする

Windows XP をお使いの場合で、インターネットに接続できる場合は、以下の手順で「Windows XP Service Pack 1」をダウンロードしてインストールしてください。

注意

・本製品をパソコンに取り付ける前に行ってください。
・インターネットに接続できる必要があります。

1 Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

注意

「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、
以下の手順でアカウントの変更を行ってください。
⇒①［スタート］→［ログオフ］を順にクリックします。
②［ユーザーの切り替え］をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

どのアカウントが「コンピュータの管理者」かわからない場合

⇒①［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
②［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
③［変更するアカウントを選びます］欄で、「コンピュータの管理者」と書いてあるアカウントが「コンピュータの管理者」です。

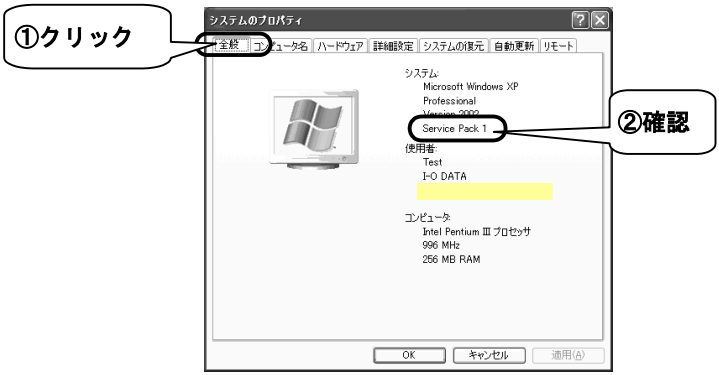
2 ［システムのプロパティ］画面を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］（右クリック）→［プロパティ］を順にクリックします。



3 Service Pack 1がインストールされているか確認します。

［全般］タブをクリックして、表示を確認します。



Service Pack 1 がインストールされていない場合はインストールします。
インストールされている場合は手順 *5* へ進んでください。

4 Service Pack 1をダウンロードします。

マイクロソフト社の「Windows Update」からダウンロードします。

URL　http://windowsupdate.microsoft.com/

画面の指示に従ってインストールしてください。

5 Windows XPを終了し、パソコンの電源を切ります。

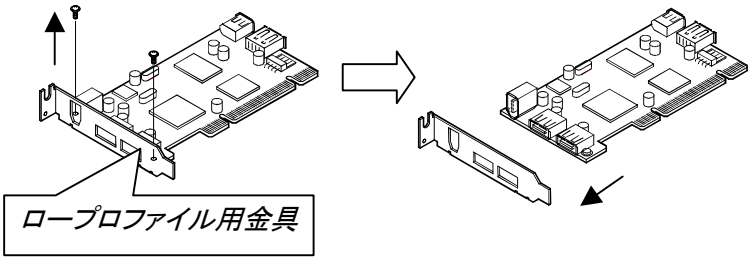
Service Pack 1 のダウンロードは終了です。
次ページへ進んでください。

金具をパソコンの PCI バススロットに合わせる

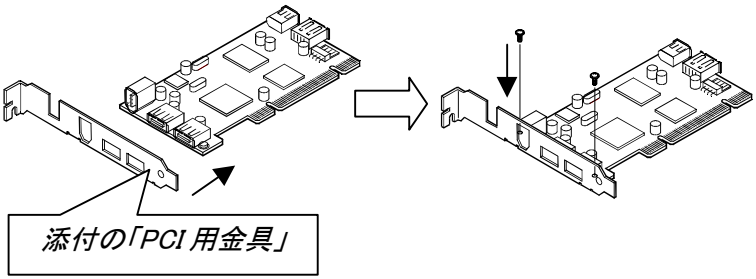
(1394US2-PCIL のみ)

1394US2-PCIL を PCI バススロット搭載パソコンでお使いになりたい場合は、パソコンに取り付ける前に、本製品の「ロープロファイル PCI 用金具」を添付の「PCI 用金具」に交換する必要があります。

1. 本ボードの取り付け金具を取り外します。
   プラスドライバを使ってネジを取り外します。
   ※ 取り外した金具は大切に保管してください。



2. 添付の「PCI 用金具」を奥まで取り付けてネジ止めしてください。



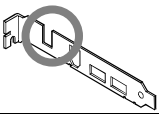
3. 取り付け後、次ページへお進みください。

参考

PCI金具の切り欠きについて

「挑戦者」ブランドで販売している「SOTO-DC」を取り付けることができます。

※「SOTO-DC」については弊社サポート対象外となります。



パソコンに取り付ける

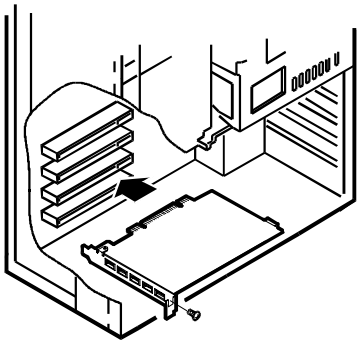
1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコンに接続されているケーブルを全て取り外します。

3 パソコンのカバーを取り外します。
パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 パソコンの PCI バススロットのカバーを取り外します。
PCI バススロットカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

5 本製品を PCI バススロットに取り付けます。
①本製品を PCI バススロットに
取り付けます。
②本製品が固定されるように、
ネジでとめます。
ネジはパソコンに付属のものを
お使いください。



6 パソコンのカバーを取り付けます。
手順**3**と逆の手順でパソコンのカバーを取り付けます。

7 取り外したケーブルを全て接続します。

注意

まだ、Windowsを起動しないでください
本書の中で「Windowsを起動します。」という案内があるまで、Windowsは起動しないでください。

取り付けは終わりました。
16 ページにて、お使いの OS に合った章をご覧ください。

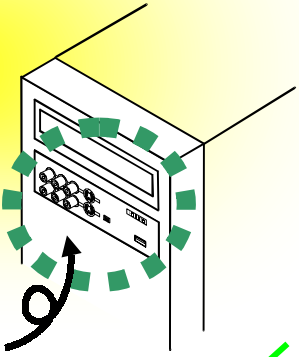
参考：弊社製 GV-FRONT と接続する場合

弊社製 GV-FRONT をすでにお使いの場合は、本製品を接続してご使用いただくことができます。別途「USB 2.0 ケーブル（A プラグ・B プラグ）」または「1394 ケーブル」をお求めください。
GV-FRONT のお取り扱いについては、「GV-FRONT 取扱説明書」をご覧ください。

GV-FRONT があれば

弊社ビデオキャプチャボード製品や本製品をパソコンに取り付けると、接続コネクタ（ポート）がパソコン背面になります。機器を何度も抜き差しする場合、接続コネクタがパソコン背面にあると、とても面倒なものです。
本製品のように GV-FRONT と内部接続できるボードであれば、GV-FRONT と接続し、パソコン前面で簡単にケーブルの抜き差しができるようになります。

※ GV-FRONT の USB および 1394 コネクタは、本製品と接続することにより、使用可能になります。



**パソコン前面で
らくらく接続！**

GV-FRONT と本製品は、パソコン内部で USB ケーブルおよび 1394 ケーブルを使って接続します。
以下の手順にしたがって接続してください。

1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコンに接続されているケーブルを全て取り外します。

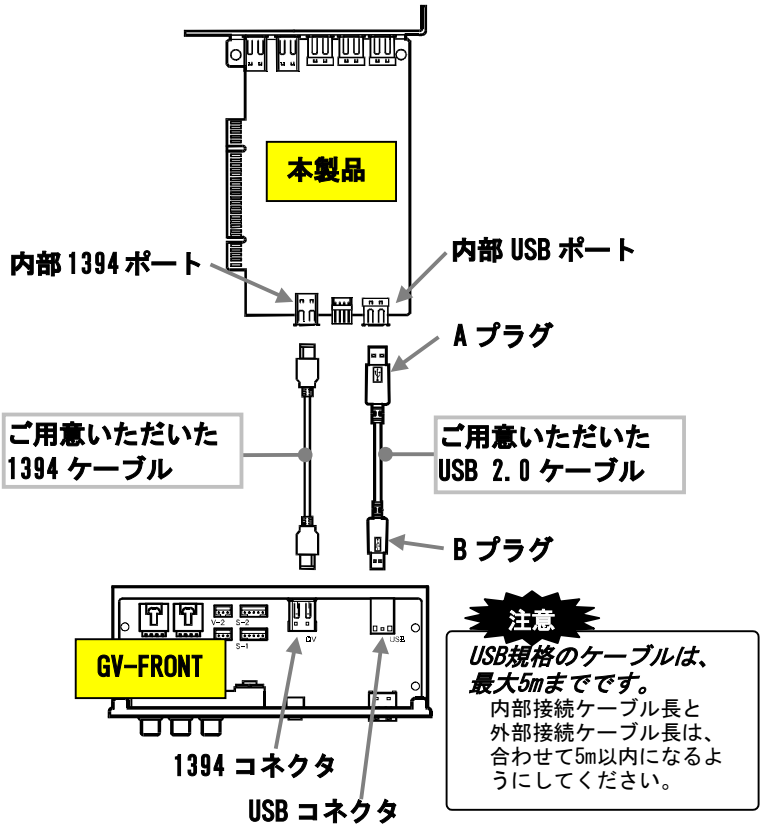
3 パソコンのカバーを取り外します。
パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 ***・USB機器をお使いになる場合***

USB 2.0ケーブルで、GV-FRONTの「USBコネクタ」と
本製品の「内部USBポート」を接続します。

・1394機器をお使いになる場合

1394ケーブルで、GV-FRONTの「1394コネクタ」と
本製品の「内部1394ポート」を接続します。



5 **パソコンのカバーを取り付けます。**

手順**3**と逆の手順でパソコンのカバーを取り付けます。

6 **取り外したケーブルを全て接続します。**

お使いの OS は？

ここからは、お使いの OS によってお読みいただく章が異なります。
お使いの OS に合った章をご覧ください。

・Windows XP
【Windows XPでお使いの場合】 ‥‥‥‥ １７

・Windows 2000
【Windows 2000でお使いの場合】 ‥‥‥ ３１

・Windows Me
【Windows Meでお使いの場合】 ‥‥‥‥ ４９

・Windows 98 SE
【Windows 98 SEでお使いの場合】 ‥‥‥ ５９

Windows XP でお使いの場合

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
18 ページ

▼

USB 機器を接続しよう

本製品に USB 機器を接続します。
26 ページ

▼

1394 機器を接続しよう

本製品に 1394 機器を接続します。
28 ページ

使えるようにしよう

本製品を使えるようにする設定について説明します。
ご利用の環境により、以下の必要な個所をご覧ください。

手順	
Windows XP Service Pack 1 をインストール済みの場合 *※Windows XP Service Pack1 のインストール手順については 10 ページを参照してください。*	次ページ
Windows XP Service Pack 1 を入手できない場合	20 ページ

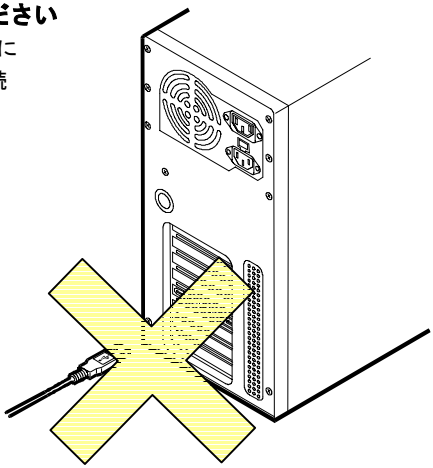
注意

本製品を取り付けてください

取り付けていない場合は、【パソコンに取り付ける】(13ページ)をご覧ください。

ケーブルを接続しないでください

本手順が終わるまで、本製品にUSBおよび1394ケーブルは接続しないでください。



Windows XP Service Pack 1 をインストール済みの場合

Microsoft 社の「Windows Update」から「Windows XP Service Pack 1」をダウンロードしてインストールしている場合（10 ページ参照）は、以下の手順を行います。

注意

以下の手順は、「Windows XP Service Pack 1」をダウンロードしてインストールしている場合（10ページ参照）の手順です。
インストールしていない場合は次ページの手順を行ってください。

1 Windowsを起動します。

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

注意

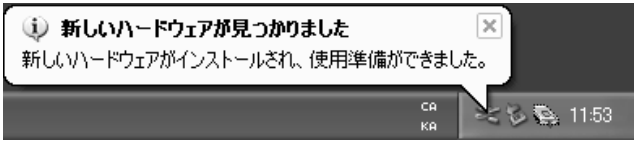
「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、
以下の手順でアカウントの変更を行ってください。
⇒①［スタート］→［ログオフ］を順にクリックします。
②［ユーザーの切り替え］をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

どのアカウントが「コンピュータの管理者」かわからない場合

⇒①［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
②［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
③［変更するアカウントを選びます］欄で、「コンピュータの管理者」と書いてあるアカウントが「コンピュータの管理者」です。

2 以下のような画面が表示されます。



以上でインストールは完了しました。
23 ページで正常にインストールされたことをご確認ください。

Windows XP Service Pack 1 を入手できない場合

本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

●本製品を使えるようにする

1 パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、
以下の手順でアカウントの変更を行ってください。

⇒①［スタート］→［ログオフ］を順にクリックします。
②［ユーザーの切り替え］をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

どのアカウントが「コンピュータの管理者」かわからない場合

⇒①［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
②［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
③［変更するアカウントを選びます］欄で、「コンピュータの管理者」と書いてあるアカウントが「コンピュータの管理者」です。

しばらくWindows画面右下に下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。

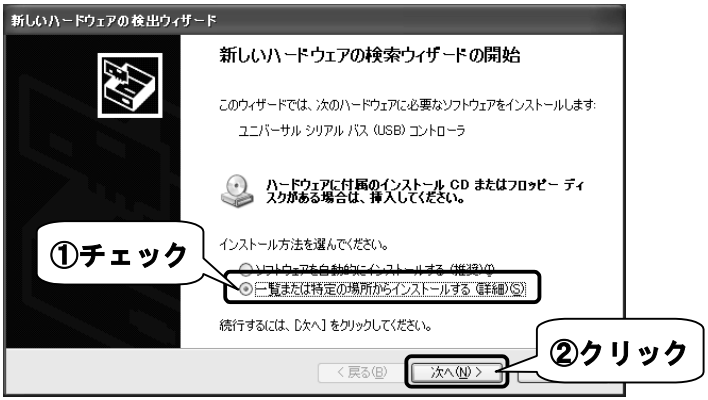


2 「サポートソフト」CD-ROMを CD-ROMドライブに挿入します。



「サポートソフト」CD-ROM

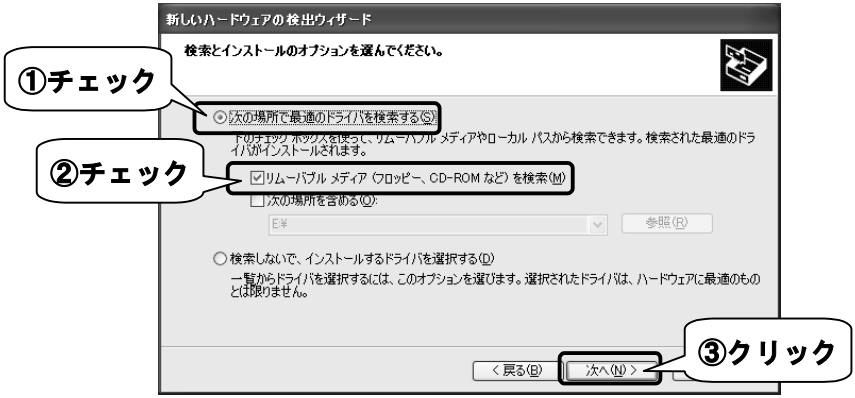
3 ［一覧または特定の場所からインストールする］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



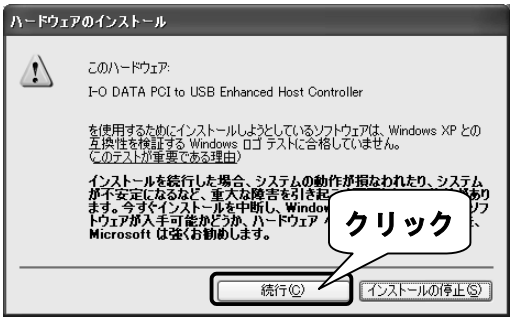
参照 **このインストール画面が表示されない場合は**
⇒86ページをご覧ください。

4 ［次の場所で最適のドライバを検索する］［リムーバブルメディアを検索］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。

サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は
①[次の場所で最適のドライバを検索する][次の場所を含める]にチェックして、[参照]ボタンをクリックします。
②[ファイルの場所]画面で、ダウンロードした場所を指定して[OK]ボタンをクリックします。
③再び①の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



5 ［続行］ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQLという組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

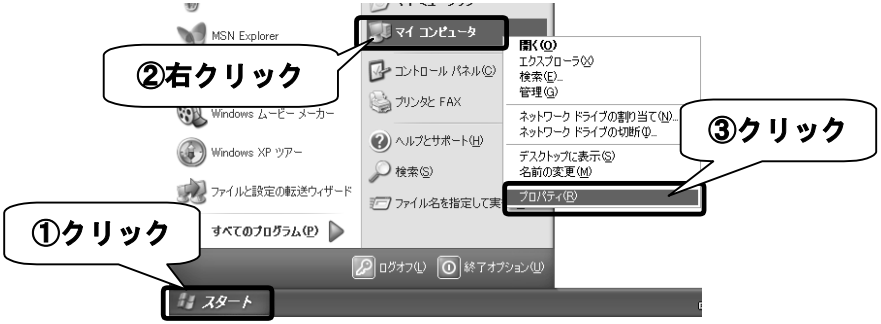
6 ［完了］ボタンをクリックします。



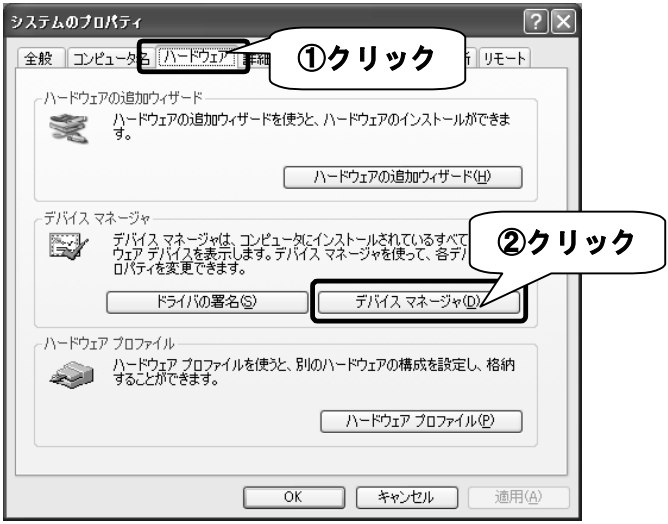
以上でインストールは完了しました。
次ページで正常にインストールされたことをご確認ください。

●確認する

1 **［スタート］をクリックし、［マイコンピュータ］を右クリックして表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**



2 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**



3 本製品が認識されていることを確認します。

① [表示] をクリックし、[デバイス（種類別)] を選択します。
② [1394 バス ホスト コントローラ] をダブルクリックして、
以下を確認します。
・[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]
③ [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をダブルクリックして、
以下を確認します。

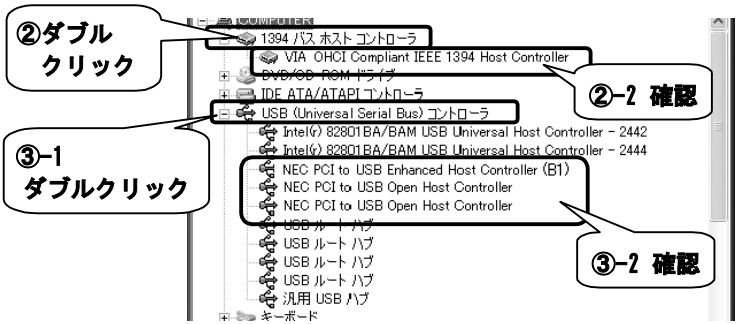
1394US2-PCI の場合

・[NEC PCI to USB Enhanced Host Controller (B1)] ※
※弊社製ドライバを使用した場合は [I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller])
・[NEC PCI to USB Open Host Controller] が２つ

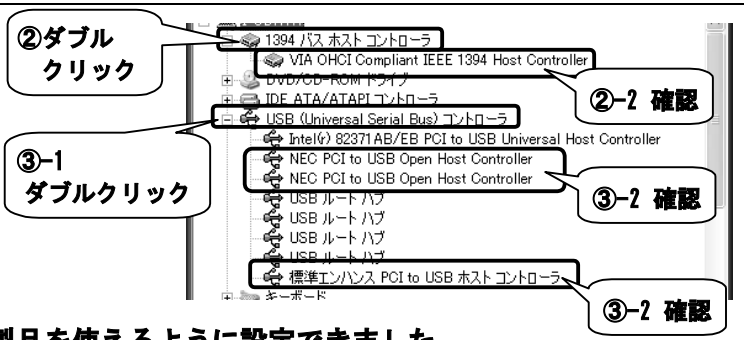
1394US2-PCIL の場合

・[NEC PCI to USB Open Host Controller] が２つ
・[標準エンハンス PCI to USB ホストコントローラ] ※
※弊社製ドライバを使用した場合は [I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller])

・1394US2-PCI での画面例



・1394US2-PCIL での画面例



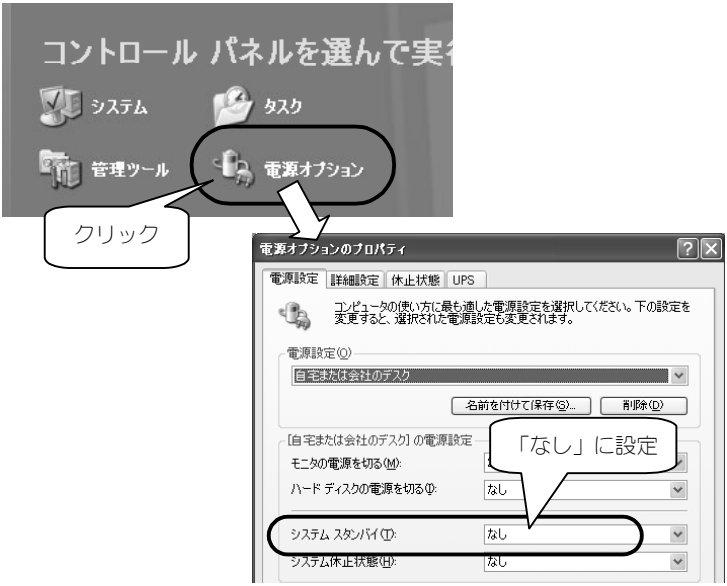
以上で、本製品を使えるように設定できました。

●機器を接続する前に

本ボードは、Windows XPのACPI機能には対応しておりません。
従って、本ボードを取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. ［スタート］→［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］を順にクリックします。
2. ［電源オプション］をクリックし、［電源設定］タブの［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。
   （［システムスタンバイ］の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定の必要はありません。）



・［スタート］→［終了オプション］→［スタンバイ］は実行しないでください。

参考

ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

USB 機器を接続しよう

ここでは、本製品に USB 機器を接続する方法について説明します。



パケットライティングソフトウェア「B's CLiP」（株式会社ビー・エイチ・エー社製）を使用して以下の作業を行っている間は、本製品にUSB機器の接続および取り外しを行わないでください。
- ディスクからのファイルの読み出し
- ディスクへのファイルの書き込み

●USB 機器を接続する前に

USB 機器を接続する前に、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

●USB 機器を接続する

USB 機器の接続については、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

※USB 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。



USB 機器の内、ストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）を USB 2.0 機器として使用するには、および、USB 2.0 対応のハブを USB 2.0 のハブとして使用するには、Windows XP で Microsoft 社製の USB 2.0 対応ドライバソフトを使用する必要があります。（Windows XP Service Pack 1 以降が必要です。）
弊社製ドライバソフトを使用した場合は、USB 1.1 の機器およびハブとして動作し、また、ハブに接続した USB 機器も USB 1.1 機器として動作します。

●USB 機器を取り外す

USB 機器の取り外しについては、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

※次ページ【参考】は取り外し方法の一例です。

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された USB 機器を取り外す場合

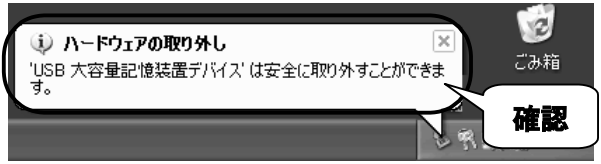
①Windows画面右下のリムーバブルツール をクリックします。



②表示された画面内の「‥‥ドライブ(x:)を安全に取り外します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続したUSB機器により異なります。



③「ハードウェアの取り外し」の吹き出しが表示されますので、接続したUSB機器を本製品のUSBポートから取り外します。
⇒表示される製品名は、接続したUSB機器により異なります。



④USB 機器の電源を切ります。

1394 機器を接続しよう

ここでは、本製品に1394機器を接続する方法について説明します。

●1394 機器を接続する前に

1394 機器を接続する前に、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

●1394 機器を接続する

1394 機器の接続については、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

※1394 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

●1394 機器を取り外す

1394 機器の取り外しについては、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

※次ページ【参考】は取り外し方法の一例です。



- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
- DV 機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- DV 機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- DV 機器を含む複数の 1394 機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。



DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

<u>パソコンの電源を入れたまま</u>本製品に接続された 1394 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール  をクリックします。



②表示された画面内の「‥‥ドライブ(x:)を安全に取り外します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続した1394機器により異なります。



③「ハードウェアの取り外し」の吹き出しが表示されますので、接続した1394機器を本製品の1394ポートから取り外します。
⇒表示される製品名は、接続した1394機器により異なります。

④1394 機器の電源を切ります。

Memo

Windows 2000 でお使いの場合

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
32 ページ

▼

USB 機器を接続しよう

本製品に USB 機器を接続します。
45 ページ

▼

1394 機器を接続しよう

本製品に 1394 機器を接続します。
47 ページ

使えるようにしよう

本製品の接続方法と、ドライバ（本製品を動作させるためのソフトウェア）のインストールについて説明します。
ご利用の環境により、以下の必要な個所をご覧ください。

手順	
インターネットに接続できる場合	次ページ
インターネットに接続できない場合	38 ページ

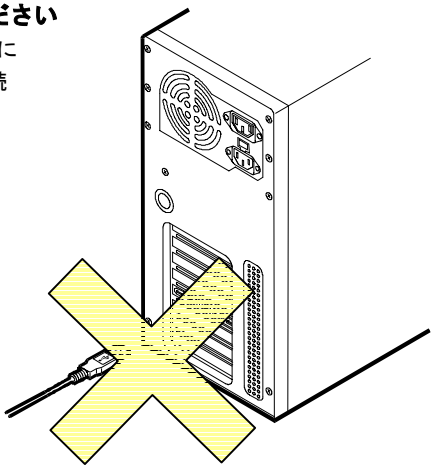
注意

本製品を取り付けてください

取り付けていない場合は、【パソコンに取り付ける】(13ページ)をご覧ください。

ケーブルを接続しないでください

本手順が終わるまで、本製品にUSBおよび1394ケーブルは接続しないでください。



インターネットに接続できる場合

本製品に必要なソフトウェア（ドライバソフト）を、インターネットに接続して、Microsoft 社の「Windows Update」からダウンロードします。

1 Windowsを起動します。

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

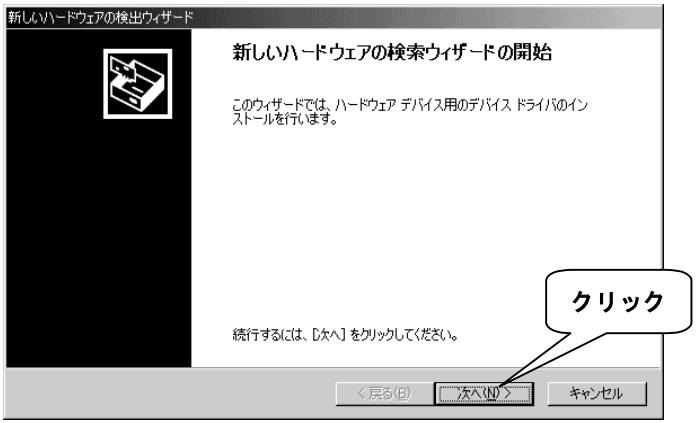
参考

しばらく下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。



2 ［次へ］ボタンをクリックします。



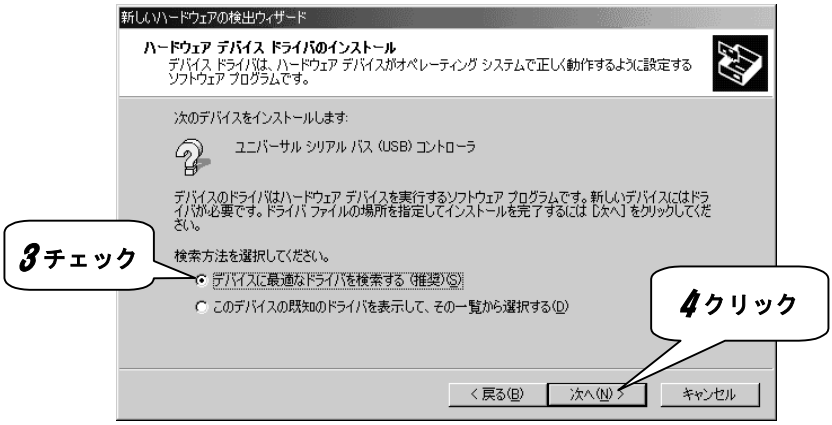
参照

このインストール画面が表示されない場合は

⇒86ページをご覧ください。

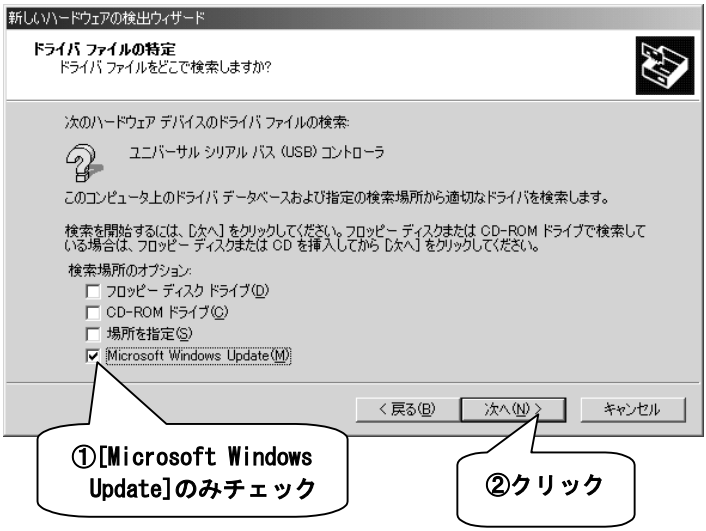
3 ［デバイスに最適なドライバを検索する］をチェックします。

4 ［デバイスに最適な･･･］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［Microsoft Windows Update］のみから検索します。

［Microsoft Windows Update］のみにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



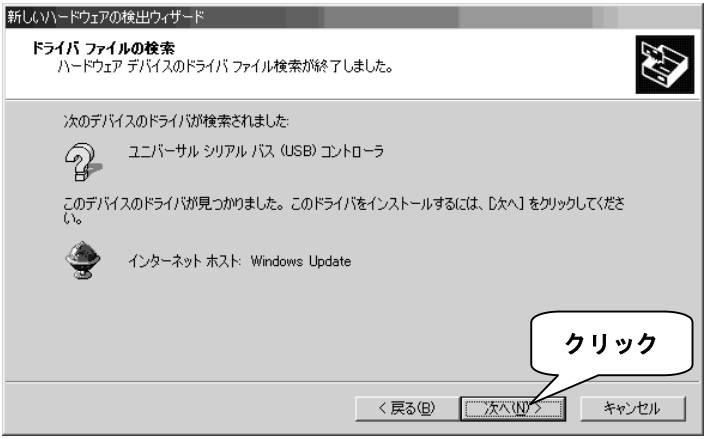
参考

以下のような画面が表示された場合は

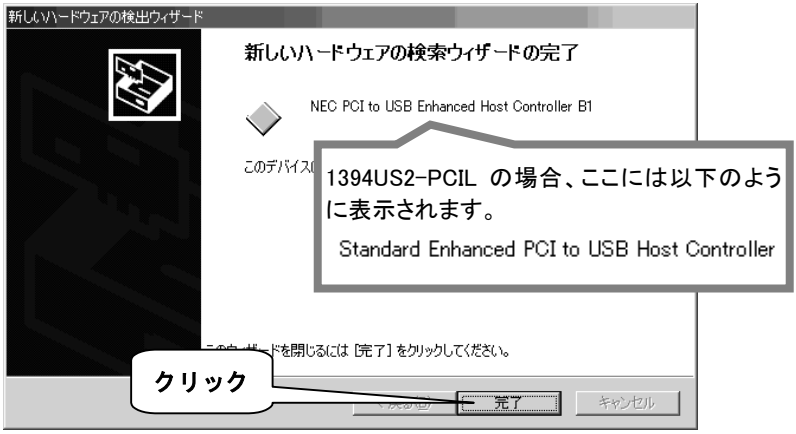
［接続］ボタンをクリックします。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。

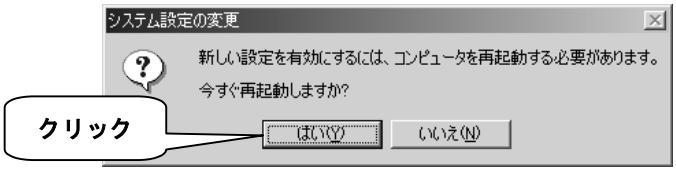


7 ［完了］ボタンをクリックします。



8 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。



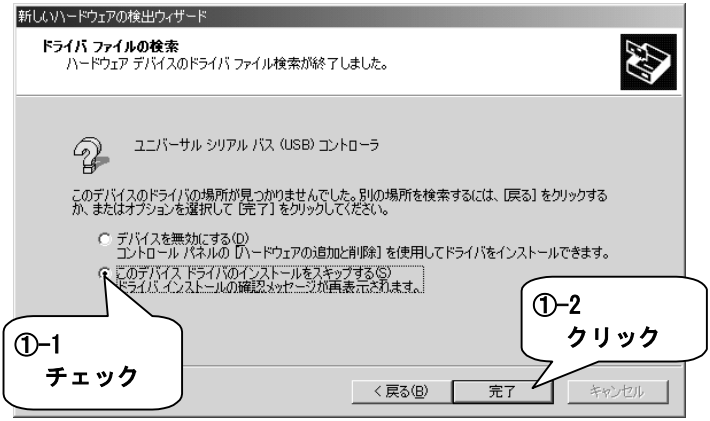
以上でインストールは完了しました。
42 ページで正常にインストールされたことをご確認ください。

参考

以下の「このデバイスのドライバの場所が…」と表示された場合は

①［このデバイスドライバのインストールをスキップする］をチェック後、［完了］ボタンをクリックします。

⇒セットアップをいったん中止してください。



②Windowsを再起動します。

③次ページ【インターネットに接続できない場合】の手順でドライバソフトをインストールしてください。

インターネットに接続できない場合

本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

●本製品を使えるようにする

1 パソコンの電源を入れ、Windows 2000を起動します。

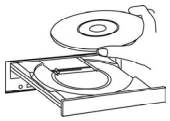
Administrator権限でログオンしてください。

しばらく下のような画面が表示されます

下のような画面が表示されますが、しばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。

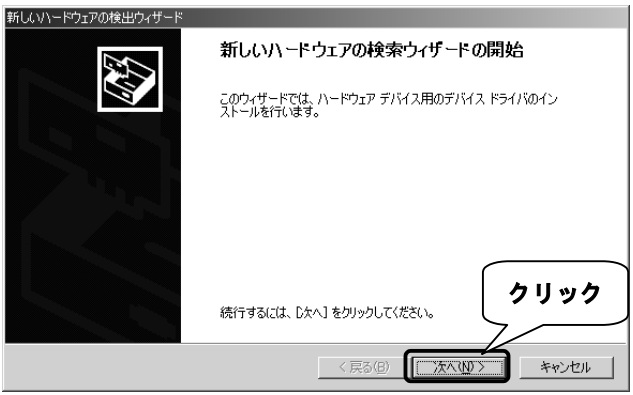


2 「サポートソフト」CD-ROMを CD-ROMドライブに挿入します。



「サポートソフト」CD-ROM

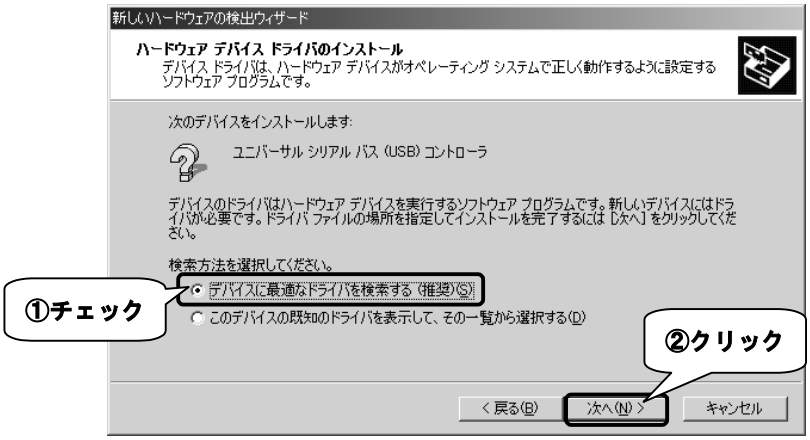
3 [次へ] ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は

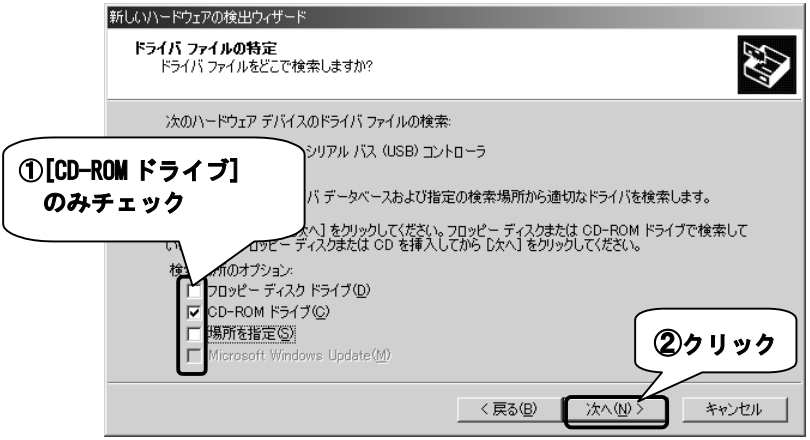
⇒86ページをご覧ください。

4 ［デバイスに最適な･･･］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［CD-ROMドライブ］のみから検索します。

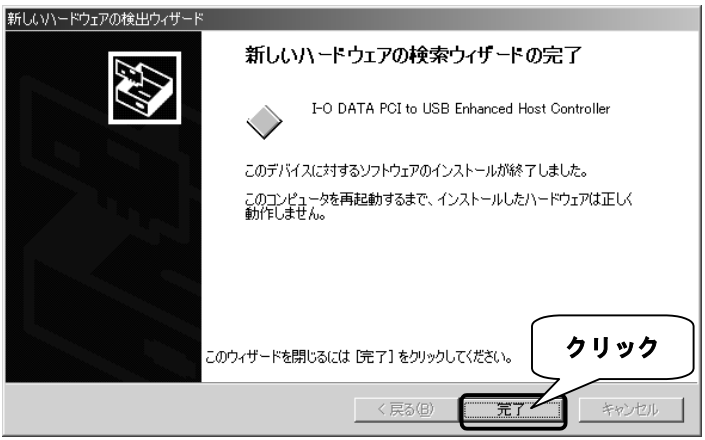
［CD-ROMドライブ］のみにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



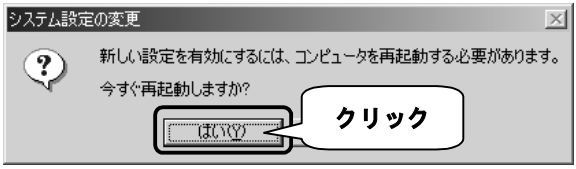
6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 ［完了］ボタンをクリックします。



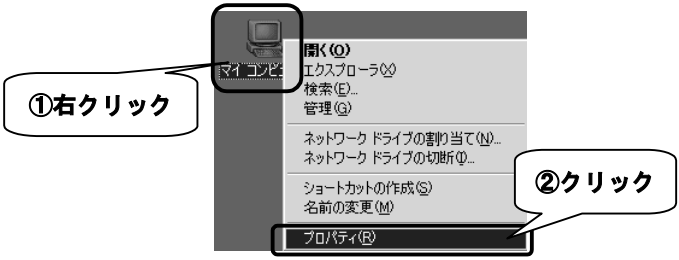
8　［はい］ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。



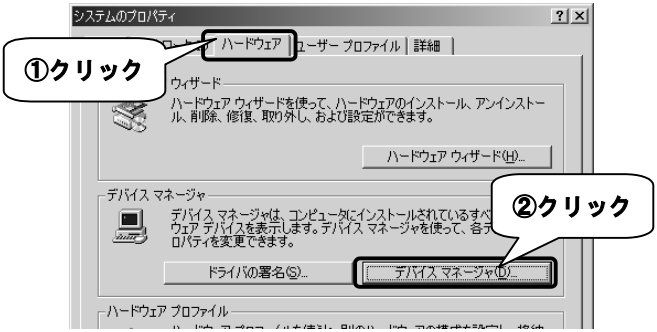
以上でインストールは終了です。
次ページ【確認する】で、インストールが正常に行われたことを確認します。

●確認する

1 **［マイコンピュータ］アイコンを右クリックして、表示された［プロパティ］をクリックします。**



2 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**



3 本製品が認識されていることを確認します。

① [表示] をクリックし、[デバイス（種類別)] を選択します。
② [1394 バス ホスト コントローラ] をダブルクリックして、
以下を確認します。
・[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]
③ [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をダブルクリックして、
以下を確認します。

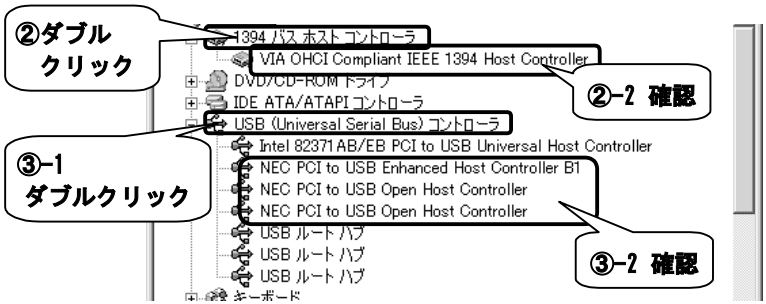
1394US2-PCI の場合

・[NEC PCI to USB Enhanced Host Controller B1] ※
※弊社製ドライバを使用した場合は [I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller] ）
・[NEC PCI to USB Open Host Controller] が２つ

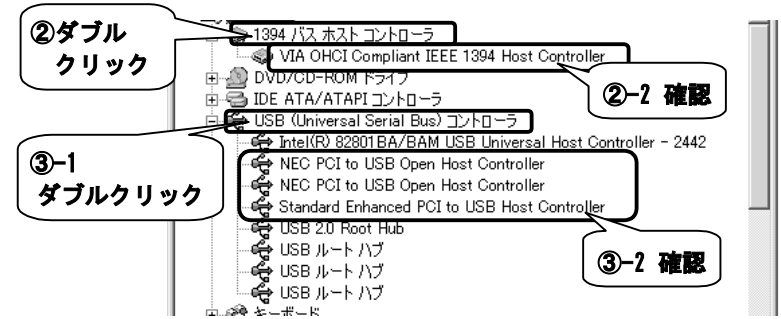
1394US2-PCIL の場合

・[NEC PCI to USB Open Host Controller] が２つ
・[Standard Enhanced PCI to USB Host Controller] ※
※弊社製ドライバを使用した場合は [I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller] ）

・1394US2-PCI での画面例



・1394US2-PCIL での画面例



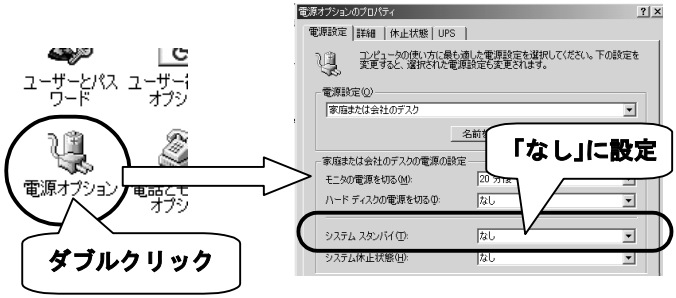
以上で、本製品を使えるように設定できました。

●機器を接続する前に

本製品は、Windows 2000のACPI機能には対応しておりません。
従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. ［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
2. ［電源オプション］をダブルクリックし、［電源設定］タブの［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。
（［システムスタンバイ］の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定の必要はありません。）



・［スタート］→［Windowsの終了］→［スタンバイ］は実行しないでください。

参考

ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

USB 機器を接続しよう

ここでは、本製品にUSB機器を接続する方法について説明します。



パケットライティングソフトウェア「B's CLiP」（株式会社ビー・エイチ・エー社製）を使用して以下の作業を行っている間は、本製品にUSB機器の接続および取り外しを行わないでください。

・ディスクからのファイルの読み出し
・ディスクへのファイルの書き込み

●USB 機器を接続する前に

USB 機器を接続する前に、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

●USB 機器を接続する

USB 機器の接続については、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
※USB 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。



USB 機器の内、ストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）を USB 2.0 機器として使用するには、および、USB 2.0 対応のハブを USB 2.0 のハブとして使用するには、Windows 2000 で Microsoft 社製の USB 2.0 対応ドライバソフトを使用する必要があります。弊社製ドライバソフトを使用した場合は、USB 1.1 の機器およびハブとして動作し、また、ハブに接続した USB 機器も USB 1.1 機器として動作します。

●USB 機器を取り外す

USB 機器の取り外しについては、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
※次ページ【参考】は取り外し方法の一例です。

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された USB 機器を取り外す場合

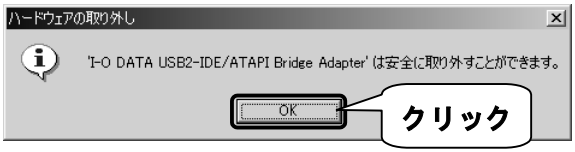
①Windows画面右下のリムーバブルツール  をクリックします。



②表示された「…ドライブ(x:)を停止します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続したUSB機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続したUSB機器により異なります。



④本製品の USB ポートから取り外します。
⑤USB 機器の電源を切ります。

1394 機器を接続しよう

ここでは、本製品に1394機器を接続する方法について説明します。

●1394 機器を接続する前に

1394 機器を接続する前に、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

●1394 機器を接続する

1394 機器の接続については、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※1394 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

●1394 機器を取り外す

1394 機器の取り外しについては、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※次ページの【参考】は取り外し方法の一例です。



- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
- DV 機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- DV 機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- DV 機器を含む複数の 1394 機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。



DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された 1394 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール をクリックします。



②表示された画面内の「…を停止します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続した1394機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続した1394機器により異なります。

④本製品の 1394 ポートから取り外します。

⑤1394 機器の電源を切ります。

Windows Me でお使いの場合

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
50 ページ

▼

USB 機器を接続しよう

本製品に USB 機器を接続します。
56 ページ

▼

1394 機器を接続しよう

本製品に 1394 機器を接続します。
57 ページ

使えるようにしよう

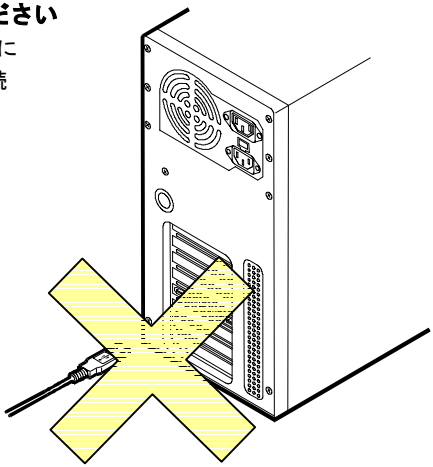
本製品を使えるようにする設定について説明します。

本製品を取り付けてください

取り付けていない場合は、【パソコンに取り付ける】(13ページ)をご覧ください。

ケーブルを接続しないでください

本手順が終わるまで、本製品にUSBおよび1394ケーブルは接続しないでください。



●本製品を使えるようにする

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

⇒手順3にある画面が表示されます。

しばらく下のような画面が表示されます

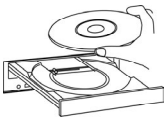
下のような画面が表示されますが、しばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。



［バージョンの競合］画面が表示された場合は･･･

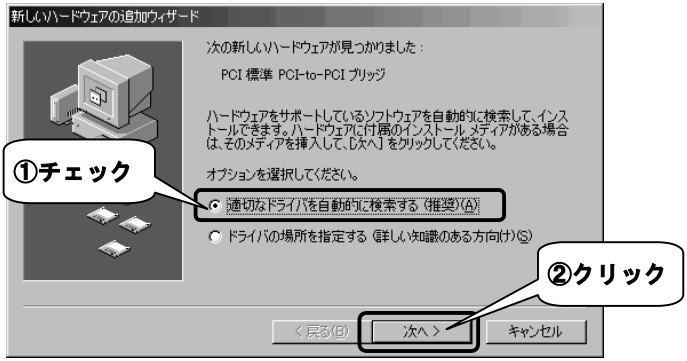
［既存のファイルをそのまま使用する］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

2 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。



「サポートソフト」CD-ROM

3 ［適切な･･･］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。



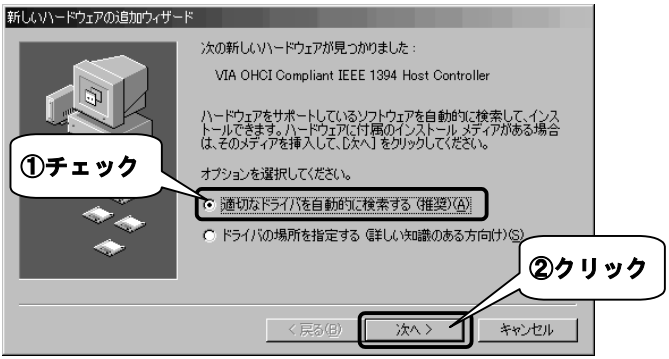
参照

このインストール画面が表示されない場合は
⇒86ページをご覧ください。

4 ［完了］ボタンをクリックします。



5　以下の画面が表示されますので、
［適切な･･･］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。



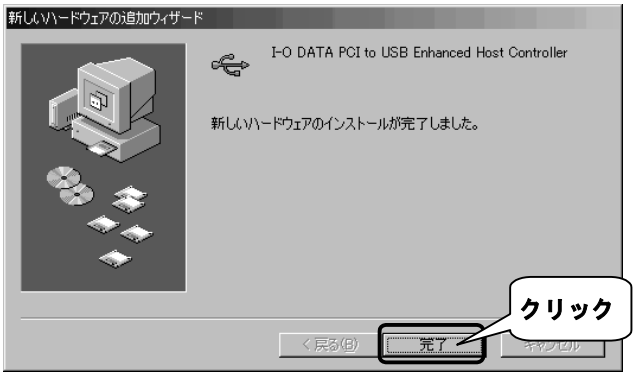
6　［完了］ボタンをクリックします。



7　以下の画面が表示されますので、
［適切な･･･］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。



8　［完了］ボタンをクリックします。



9　「今すぐ再起動しますか？」と表示された場合は、［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。

引き続き、正常にインストールされたかを確認します。
次ページへお進みください。

●確認する

10 ［マイコンピュータ］を右クリックして、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

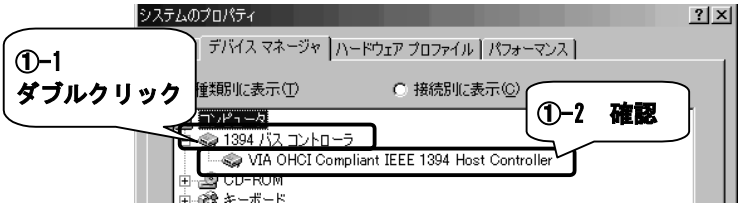
11 ［デバイスマネージャ］タブをクリック後、［種類別に表示］をチェックします。



12 本製品が認識されていることを確認します。

①［1394 バス コントローラ］をダブルクリックして、 以下を確認します。

・[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]

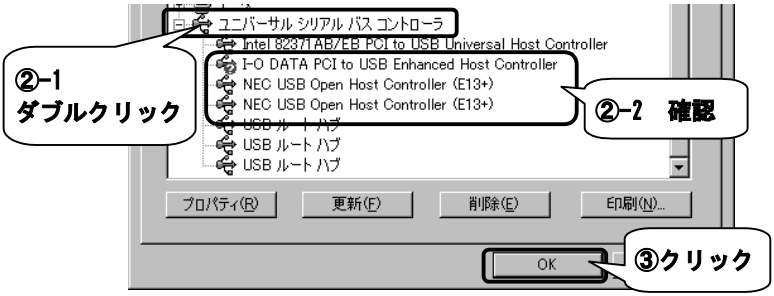


②［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックして、 以下を確認します。

・[I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller]

・[NEC USB Open Host Controller(E13+)] が２つ

③確認後、[OK] ボタンをクリックします。



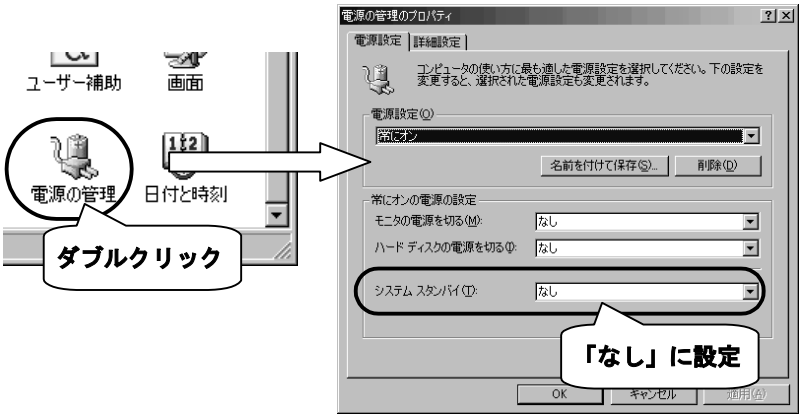
以上で、本製品を使えるように設定できました。

●機器を接続する前に

本製品は、Windows MeのACPI規格には対応しておりません。
従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
2. ［電源の管理］をダブルクリックし、［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。



・［スタート］→［Windowsの終了］→［スタンバイ］は実行しないでください。（［スタンバイ］が表示されない機種もあります。）

参考

ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

USB 機器を接続しよう

ここでは、本製品に USB 機器を接続する方法について説明します。

●USB 機器を接続する前に

USB 機器を接続する前に、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

●USB 機器を接続する

USB 機器の接続については、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

USBハブをお使いの場合は

USBハブにUSB 2.0対応のi・CONNECT機器を接続した場合、USB 1.1として認識されます。

その他の注意については、【USBについて】(95ページ)をご覧ください。

●USB 機器を取り外す

USB 機器の取り外しについては、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

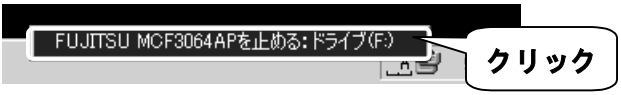
※以下【参考】は取り外し方法の一例です。

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された USB 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール をクリックします。



②表示された「…を止める:ドライブ(x:)」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続したUSB機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続したUSB機器により異なります。



④接続した USB 機器を本製品の USB ポートから取り外します。

⑤USB 機器の電源を切ります。

1394 機器を接続しよう

ここでは、本製品に 1394 機器を接続する方法について説明します。

●1394 機器を接続する前に

1394 機器を接続する前に、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

●1394 機器を接続する

1394 機器の接続については、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※1394 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

●1394 機器を取り外す

1394 機器の取り外しについては、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※次ページの【参考】は取り外し方法の一例です。



- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
- DV 機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- DV 機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- DV 機器を含む複数の 1394 機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。



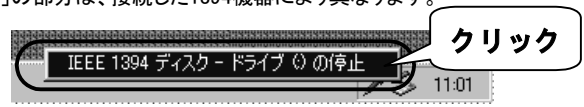
DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された 1394 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール をクリックします。



②表示された画面内の「…の停止」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続した1394機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続した1394機器により異なります。



④本製品の 1394 ポートから取り外します。
⑤1394 機器の電源を切ります。

Windows 98 SE でお使いの場合

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
60 ページ

▼

USB 機器を接続しよう

本製品に USB 機器を接続します。
79 ページ

▼

1394 機器を接続しよう

本製品に 1394 機器を接続します。
80 ページ

使えるようにしよう

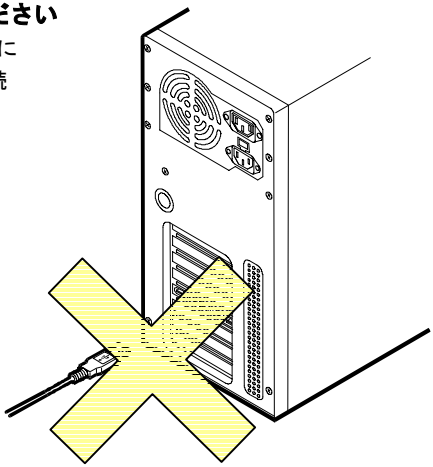
本製品を使えるようにする設定について説明します。

本製品を取り付けてください

取り付けていない場合は、【パソコンに取り付ける】(13ページ)をご覧ください。

ケーブルを接続しないでください

本手順が終わるまで、本製品にUSBおよび1394ケーブルは接続しないでください。



●USB機器を接続する

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

⇒次ページの手順2にある画面が表示されます。

●ドライバソフトをインストールする

Windows 98 SE では、本製品を使用するために、以下の順に５つのドライバソフトをインストールします。

① PCI 標準 PCI-to-PCI ブリッジ
② NEC USB Open Host Controller
③ NEC USB Open Host Controller　※②と同じドライバです。
④ I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller
⑤ PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller

この内、①、②、③、⑤は、Windows 標準のドライバソフトです。
④のみ、「サポートソフト」CD-ROM 内にあるドライバソフトです。
そのため、①、②、③、⑤は、「Windows 98 SE」CD-ROM※から、④のみ「サポートソフト」CD-ROM からインストールします。
以下の手順に従って、使用する CD-ROM やインストール元のフォルダなどに注意してインストールしてください。

※Windows 98 SE プリインストールパソコンの場合は、ハードディスクのフォルダからインストールします。

・１つめのドライバソフトのインストール
（「PCI 標準 PCI-to-PCI ブリッジ」）

2　［次へ］ボタンをクリックします。



参照

このインストール画面が表示されない場合は
⇒86ページをご覧ください。

3 ［使用中の･･･］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



4 全てのチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［完了］ボタンをクリックします。



・２つめのドライバソフトのインストール
（「NEC USB Open Host Controller」）

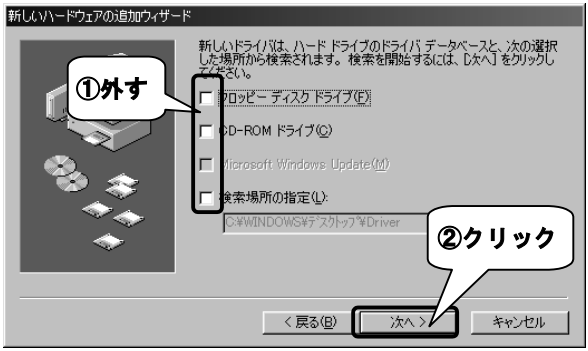
7 ［次へ］ボタンをクリックします。



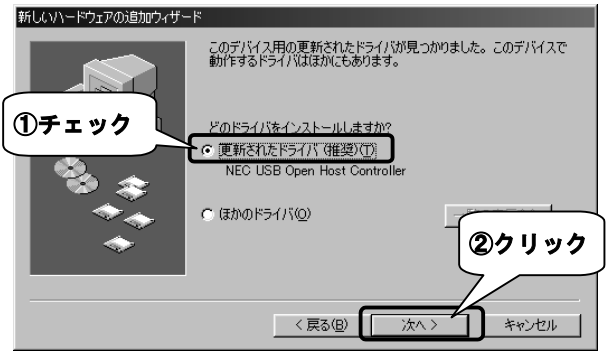
8 ［使用中の･･･］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



9 全てのチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。



10 ［更新されたドライバ（推奨）］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

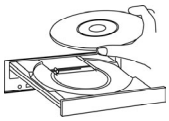


11 ［次へ］ボタンをクリックします。



12 下の画面が表示される場合があります。

Windows 98 SEのCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、［OK］ボタンをクリックしてください。



「Windows 98 SE」CD-ROM



下のような画面が表示されたら･･･

①［参照］ボタンをクリックします。⇒［開く］画面が表示されます。
②WindowsのCD-ROMを挿入した、CD-ROMドライブを選択します。
③［WIN98］フォルダをダブルクリックします。
※［WIN98］フォルダがない場合は、Cドライブ（起動ドライブがCの場合）を選択し、［Windows］→［Options］→［Cabs］の順にフォルダをダブルクリックします。
④［開く］ボタンをクリックし、下の画面に戻ります。
⑤［OK］ボタンをクリックします。



13 ［完了］ボタンをクリックします。



・３つめのドライバソフトのインストール
（「NEC USB Open Host Controller」）

14 以下の画面が表示されます。
7～13の手順を参照してください。

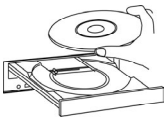


・４つめのドライバソフトのインストール
（「I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller」）

15 **以下の画面が表示されます。**
［次へ］ボタンをクリックします。



16 **CD-ROMを「サポートソフト」CD-ROMに**
入れ替えます。


「サポートソフト」CD-ROM

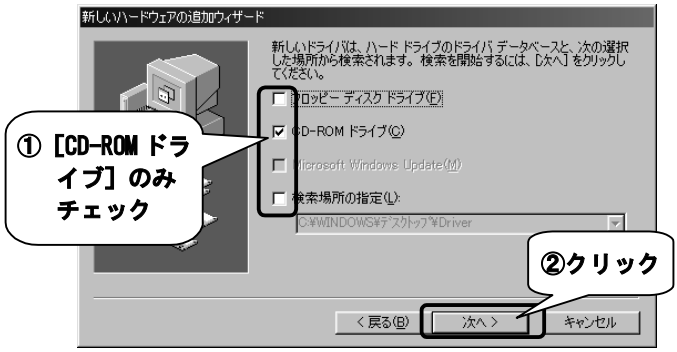
17 **［使用中の･･･］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。**



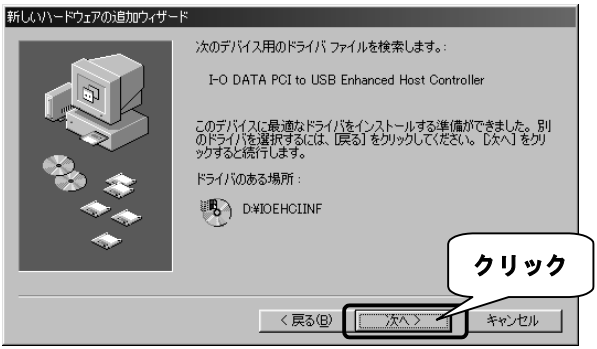
18 [CD-ROMドライブ] のみチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

他のチェックは外してください。

サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は
①[検索場所の指定]のみにチェックし、[参照]ボタンをクリックします。
②ダウンロードした場所を指定してください。
③再び①の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



19 [次へ] ボタンをクリックします。

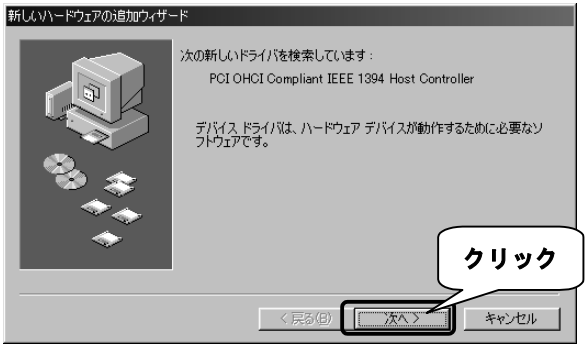


20 [完了] ボタンをクリックします。



・５つめのドライバソフトのインストール
（「PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」）

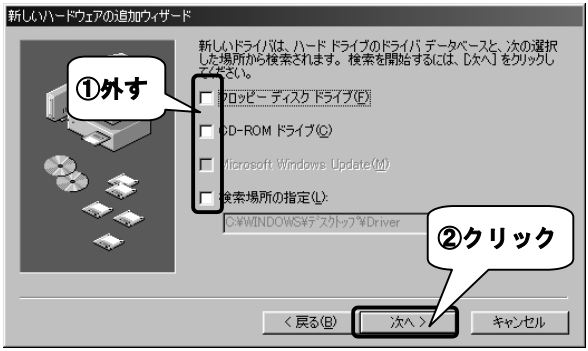
21 ［次へ］ボタンをクリックします。



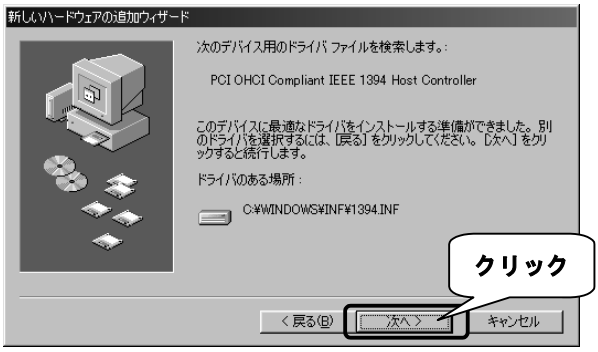
22 ［使用中の･･･］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



23 全てのチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。



24 ［次へ］ボタンをクリックします。



25 下の画面が表示される場合があります。

CD-ROMを「Windows 98 SE」CD-ROMに入れ替えて、［OK］ボタンをクリックしてください。



「Windows 98 SE」CD-ROM



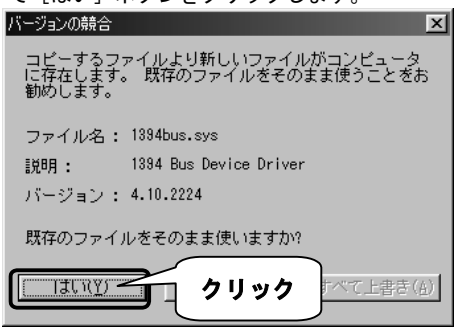
下のような画面が表示されたら･･･

①［参照］ボタンをクリックします。⇒［開く］画面が表示されます。
②WindowsのCD-ROMを挿入した、CD-ROMドライブを選択します。
③［WIN98］フォルダをダブルクリックします。
※［WIN98］フォルダがない場合は、Cドライブ（起動ドライブがCの場合）を選択し、［Windows］→［Options］→［Cabs］の順にフォルダをダブルクリックします。
④［開く］ボタンをクリックし、下の画面に戻ります。
⑤［OK］ボタンをクリックします。



［バージョンの競合］画面が表示されたら･･･

以下のような［バージョンの競合］画面が複数表示される場合があります。
その場合は、すべて［はい］ボタンをクリックします。



26 **［完了］ボタンをクリックします。**



27 **「今すぐ再起動しますか？」と表示された場合は、［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。**

●Windows 98 SE 自体をさらにアップデートする

本製品で1394機器を使用する場合は、Windows 98 SE自体を更にアップデートする必要があります。

アップデートは添付の「サポートソフト」で行います。

※このソフトウェアは、Windows 98をWindows 98 SEにアップデートするソフトウェアではありません。Windows 98をお使いの場合は、必ず、Windows 98 SEにアップグレードした後で、本ソフトウェアをご使用ください。

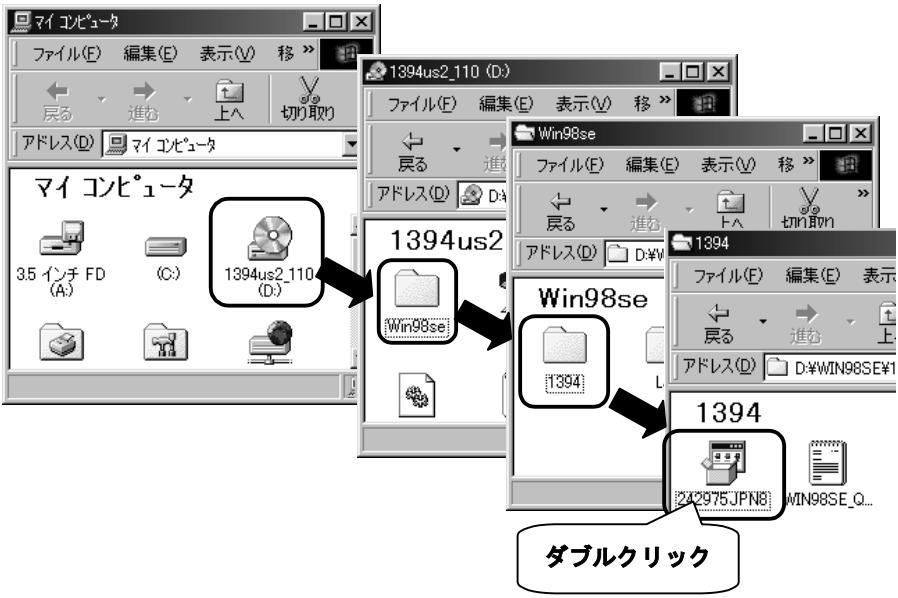
ここではまだ本製品に機器は接続しないでください。

28 「サポートソフト」CD-ROMを CD-ROMドライブに挿入します。

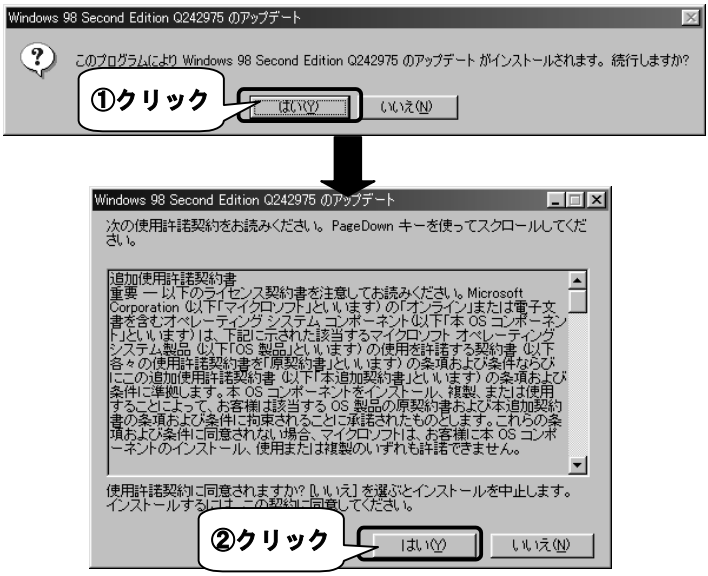


「サポートソフト」CD-ROM

29 [マイコンピュータ]→[CD-ROMドライブ]([1394us2_xxx]アイコン)→[Win98se]→[1394]→[242975JPN8]を順にダブルクリックします。



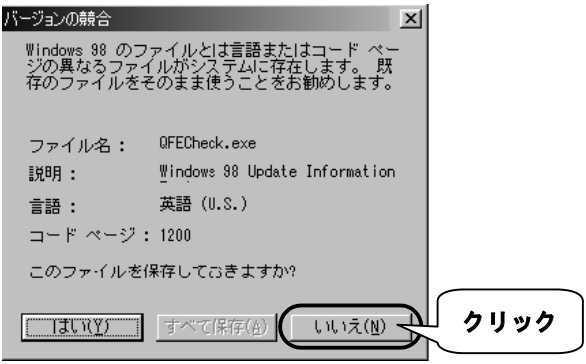
30 後は、画面の指示にしたがって［はい］ボタンをクリックします。



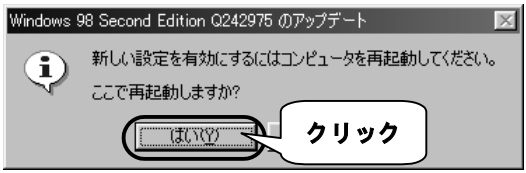
注意

このアップデートを行うと、元に戻すことはできません。内容をしっかりとご覧ください。

31 以下の画面が表示された場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。



32 ［はい］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



●確認する

33 ［マイコンピュータ］を右クリックして、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

34 ［デバイスマネージャ］タブをクリック後、［種類別に表示］をチェックします。



35 本製品が認識されていることを確認します。

①［1394 バス コントローラ］をダブルクリックして、 以下を確認します。

・[PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]

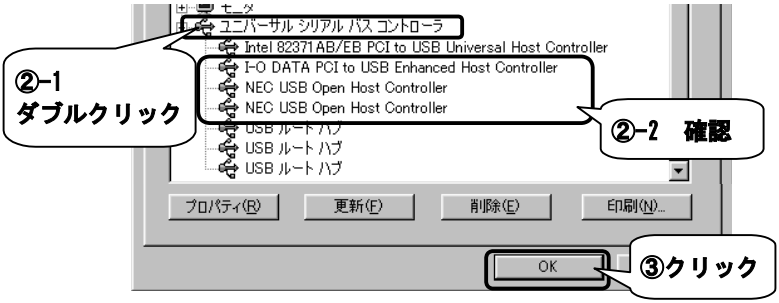


②［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックして、以下を確認します。

・[I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller]

・[NEC USB Open Host Controller] が２つ

③確認後、[OK] ボタンをクリックします。



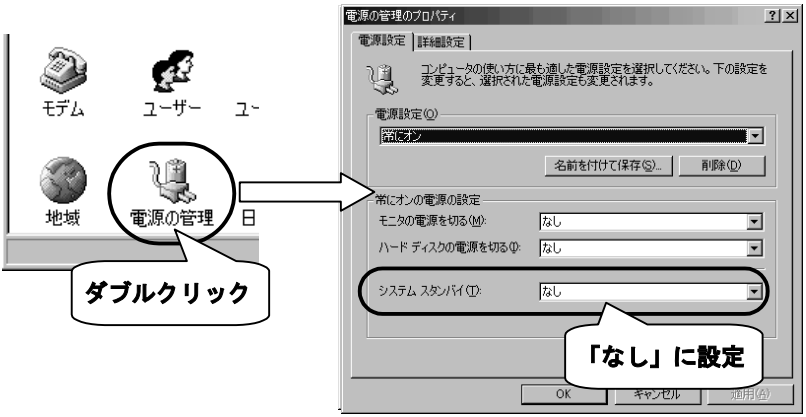
以上で、本製品を使えるように設定できました。

●機器を接続する前に

本製品は、Windows 98 SEのACPI機能には対応しておりません。
従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
2. ［電源の管理］をダブルクリックし、［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。



・［スタート］→［Windowsの終了］→［スタンバイ］は実行しないでください。（［スタンバイ］が表示されない機種もあります。）

参考

ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

USB 機器を接続しよう

ここでは、本製品に USB 機器を接続する方法について説明します。

●USB 機器を接続する前に

USB 機器を接続する前に、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

●USB 機器を接続する

USB 機器の接続については、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

USBハブをお使いの場合は

USBハブにUSB 2.0対応のi･CONNECT機器を接続した場合、USB 1.1として認識されます。

その他の注意については、【USBについて】(95ページ)を参照してください。

●USB 機器を取り外す

USB 機器の取り外しについては、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

※以下【参考】は取り外し方法の一例です。

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された USB 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール をクリックします。



②表示された「Stop …:Drive(x:)」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続したUSB機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続したUSB機器により異なります。

④接続した USB 機器を本製品の USB ポートから取り外します。

⑤USB 機器の電源を切ります。

1394 機器を接続しよう

ここでは、本製品に 1394 機器を接続する方法について説明します。

●1394 機器を接続する前に

1394 機器を接続する前に、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

●1394 機器を接続する

1394 機器の接続については、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※1394 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

●1394 機器を取り外す

1394 機器の取り外しについては、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※次ページの【参考】は取り外し方法の一例です。



・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
・DV 機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・DV 機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
・DV 機器を含む複数の 1394 機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。



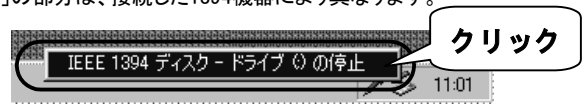
DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

<u>パソコンの電源を入れたまま</u>本製品に接続された 1394 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール をクリックします。



②表示された画面内の「…の停止」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続した1394機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続した1394機器により異なります。

④本製品の 1394 ポートから取り外します。

⑤1394 機器の電源を切ります。

Memo

ふろく

困ったときには

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

84 ページ

サポートソフトの削除

「USB 2.0 インターフェイスサポートソフト」の削除方法について説明します。

93 ページ

USB について

USB についての説明します。

95 ページ

1394 機器を２台以上接続する場合

1394 機器を２台以上接続する場合についての説明します。

97 ページ

用語解説

本書内の用語を説明します。

101 ページ

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。

102 ページ

困ったときには

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポート Web ページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

●インストール時のトラブル

状態	参照ページ
パソコンが起動しない	86
インストール画面が表示されない	

●USB 機器使用時のトラブル

状態	参照ページ
機器が動かない	87
USB機器の転送速度が遅い	
USB機器の動作が不安定である	
前に使えていたUSB機器が使えなくなった	

●1394 機器使用時のトラブル

状態	参照ページ
・[1394 バスホストコントローラ]の表示がない（Windows XP/2000 の場合） ・[1394 バスコントローラ]の表示がない　（Windows Me/98 SE の場合）	88
・[VIA OHCI Compliant……]の頭に[！]マークや[×]マークがある （Windows XP/2000/Me の場合） ・[PCI OHCI Compliant……]の頭に[！]マークや[×]マークがある （Windows 98 SE の場合）	
1394 機器の動作が不安定である	90
接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない	
・ストレージ機器の取り外しの際に、[取り外しができません]と表示される ・ストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない	
アプリケーションが、正常に動作しない	
Windows を終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう （Windows 98 SE の場合のみ）	91

インストール時のトラブル

パソコンが起動しない

原因1 本製品を正しく取り付けていません

対処 【パソコンに取り付ける】(13ページ)をご覧になり、もう一度取り付けてください。

原因2 他の機器と本製品のリソースが重複しています

対処 1 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。

対処 2 他の機器と本製品のリソース(IRQやメモリアドレス)が重複している可能性があります。
他の機器のリソースを変更してください。リソースの変更方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

インストール画面が表示されない

原因1 本製品を正しく取り付けていません

対処 【パソコンに取り付ける】(13ページ)をご覧になり、もう一度取り付けてください。

原因2 リソースが不足しています

対処 パソコンのリソース(IRQやメモリアドレス)が不足している可能性があります。
他の機器を取り外したり、使わないパソコンの機能を無効にして、リソースを確保してください。
※リソースの確保方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

原因3 他の機器と本製品のリソースが重複しています

対処 上記「パソコンが起動しない」の原因2をご覧ください。

原因4 インストールが終了しています

対処 本製品のインストールが正常に終了すると、次回からはインストール画面は表示されません。

USB 機器使用時のトラブル

機器が動かない

原因1 機器を正しく接続していません

対処 USB機器の取扱説明書をご覧になり、もう一度接続してください。

原因2 USBハブが電源を供給できていません

対処 USB ハブに接続している場合、USB 機器が必要としている電源を USB ハブから供給できない可能性があります。
「USBハブが供給できる電力」と「USB機器がUSBポートから消費する電力」をご確認ください。

USB 機器の転送速度が遅い

原因1 USB 2.0機器ではありません

対処 弊社製 HDA/USBシリーズなどのUSB 1.1機器は、USB 1.1の転送となります。

原因2 USBハブに接続しています

対処 弊社製ドライバを使用時、USB ハブに接続した USB 機器は、USB 1.1 機器として動作します。
USB 2.0機器は、本製品のUSBポートに直接接続してください。

USB 機器の動作が不安定である

対処 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。

前に使えていた USB 機器が使えなくなった

原因 前と違うUSBポートに接続しました

対処 USB 機器によっては、一度使えるようにした USB ポート以外の USB ポートに、改めて同じ USB 機器を接続するともう一度作業が必要になるものがあります。
USB機器はなるべく同じUSBポートに接続してお使いください。

1394 機器使用時のトラブル

・[1394 バスホストコントローラ]の表示がない　（Windows XP/2000 の場合）
・[1394 バスコントローラ]の表示がない　（Windows Me/98 SE の場合）

原因1
単に表示されていないだけの場合があります

対処
パソコンを再起動して、もう一度確認してみてください。

原因2
本製品がPCIバススロットに正しく取り付けられていない

対処 1
確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2
本製品を別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

・[VIA OHCI Compliant ・・・・]の頭に[！]マークや[×]マークがある
（Windows XP/2000/Me の場合）
・[PCI OHCI Compliant ・・・・]の頭に[！]マークや[×]マークがある
（Windows 98 SE の場合）

原因
本製品と他のデバイスのリソースが競合もしくは共有(シェアリング)されている場合があります。その場合、正常に動作しない場合がありますので、以下の手順でリソース（主にIRQ）を変更してみてください。

対処 1
本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。（取り付けるPCIバススロットを変更することでリソースが変更される場合があります。）

対処 2
使用していない機能やボードがあれば、取り外したり、無効にしてみてお試しください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）

対処 3
パソコン本体の BIOS 設定（BIOS セットアップメニューなど）で、本製品のリソース設定を変更してみてください。
（詳細は各パソコン本体の取扱説明書をご参照ください。）

※本製品は、プラグアンドプレイ対応ボードのため、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQなど)を割り振られます。そのため、本製品側でリソースを変更することはできません。

参考（IRQ の変更をするには？）

IRQの変更は、[デバイスマネージャ]上からは行えません。通常パソコン本体のBIOS設定から行います。
BIOSの設定方法は各メーカーにより異なりますが、PCIバススロット毎に任意のIRQを割当てられるタイプや、特定のIRQを予め予約設定にするなどというものがあります。
詳細は各マザーボード／パソコン本体の取扱説明書もご参照ください。

対処 4

以下の手順に従って、競合もしくは共有している製品側のリソースを変更します。
（本製品のリソースは変更できません。）

1. 本製品と競合・共有している製品がないかを確認する

Windows起動後、[デバイスマネージャ]でIRQ一覧画面を表示してください。
[VIA OHCI Compliant ……]（または[PCI OHCI Compliant ……]）と競合または共有している製品とそのリソースを確認します。
あれば以下の手順で競合もしくは共有している製品側のリソースを変更してみてください。

2. 競合・共有している製品側のリソースを変更する

①.[デバイスマネージャ]画面で競合している製品を探し、ダブルクリックします。

②.[リソース]タブをクリックします。

③.[自動設定を使う]（または[自動設定]）のチェックを外し、競合および共有しているリソースの種類をダブルクリックし、他の競合していない値に変更します。

> パソコンの環境によってはリソースの変更（主に IRQ）ができない場合、パソコン本体（マザーボード）の BIOS 設定で、PCI および ISA バスの IRQ 割り当てを変更する必要があります。
> 詳細はパソコンメーカーへお問い合わせ頂くか、マザーボードの取扱説明書をご覧ください。（PCI スロットを変更することで、IRQ が変更される場合があります。）

④.[OK]ボタンを数回クリックして各ウィンドウを終了すると、Windowsの終了確認画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックして、Windowsを終了します。（パソコンの電源を切ってください。）

⑤.リソースを変更した製品の設定をWindowsの設定と合わせるため、
必要ならばディップスイッチまたはジャンパスイッチを変更してください。
（詳細は、設定を変更する製品の取扱説明書を参照してください。）

1394 機器の動作が不安定である

対処 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。

接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない

原因 正しく接続されていない

対処 一度パソコンの電源を切ってから、いったんストレージ機器を取り外します。
再度、ストレージ機器の電源を入れ、ケーブルを本製品に接続し直してみてください。

・ストレージ機器の取り外しの際に、[取り外しができません]と表示される
・ストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない

対処 1 使用中のアプリケーションをすべて終了した後に、もう一度取り外し手順を行ってみてください。

対処 2 Windowsを終了した後に、取り外してください。

アプリケーションが、正常に動作しない

対処 以下の【確認する】の個所を参照して、まずは、本製品が正常に認識されているかご確認ください・

- ・Windows XPの場合 → 23ページ
- ・Windows 2000の場合 → 42ページ
- ・Windows Meの場合 → 54ページ
- ・Windows 98 SEの場合 → 77ページ

認識に問題がない場合は、本製品の動作には問題ないと思われますので、ご使用のアプリケーションメーカーにて、サポートを受けてください。

Windows を終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう　（Windows 98 SE の場合のみ）

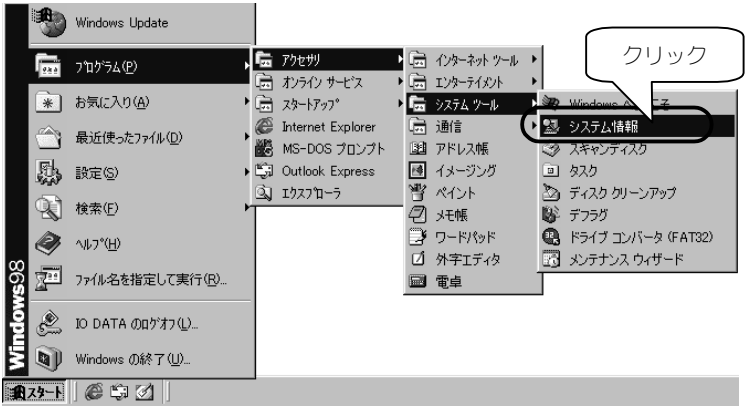
Windowsの終了を行ったにもかかわらず、「Windowsを終了しています」の表示のままで止まってしまう場合があります。その際には、下記の対処をお試しください。

対処 1

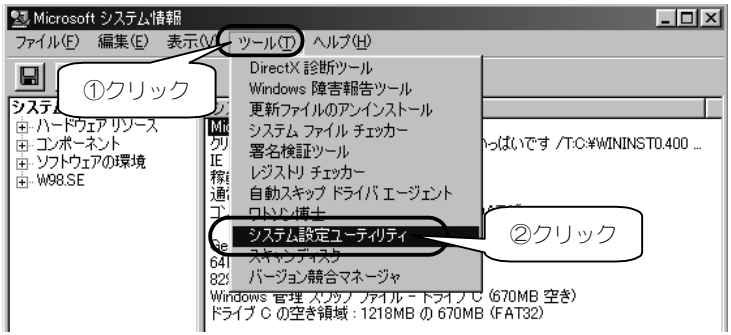
本製品が原因であるかどうかをテストします。
パソコンの電源を切って、本製品を取り外し、現象が改善されるかどうかを確認してください。
現象が改善された場合は、以下の対処2をお試しください。
現象が改善されない場合は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

対処 2

1.［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］より
［システム情報］を起動します。



2.　［ツール］メニューの［システム設定ユーティリティ］をクリックします。



（次ページへつづく）

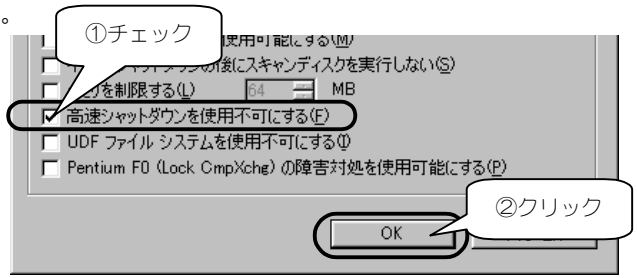
対処 2

（前ページからのつづき）

3. ［詳細設定］ボタンをクリックします。



4.［高速シャットダウンを使用不可にする］にチェックを入れ、［OK］ボタンをクリックします。



以上の設定後、現象が改善されるかご確認ください。

対処 3

以上の対処1および対処2でも現象が改善されない場合、Microsoft 社より「Windows 98 SE Shutdown Supplement」が提供されております。
詳しくは下記URLを参照してください。

http://www.microsoft.com/japan/win98/downloads/shutdown.htm

注意！

・上記 URL に関する問い合わせの受け付けは弊社では行っておりません。
使用上の注意をよくお読みになった上でご使用ください。
・ホームページのアドレスは予告なしに変更または、中止になる場合があります。

サポートソフトの削除

「サポートソフト」の削除方法について説明します。

※この手順は、Windows XP/2000、Windows Me/98 SE 共通です。
（画面は Windows XP のものです。）

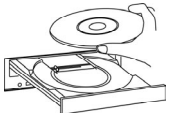
1 本製品に接続されている全ての機器※を取り外します。

※USBマウス、USBキーボードを除く

⇒取り外す方法は、USB 機器の場合は、各 OS の【USB 機器を接続しよう】の「●USB 機器を取り外す」をご参照ください。

1394 機器の場合は、各 OS の【1394 機器を接続しよう】の「●1394 機器を取り外す」をご参照ください。

2 「サポートソフト」CD-ROMを CD-ROMドライブに挿入します。



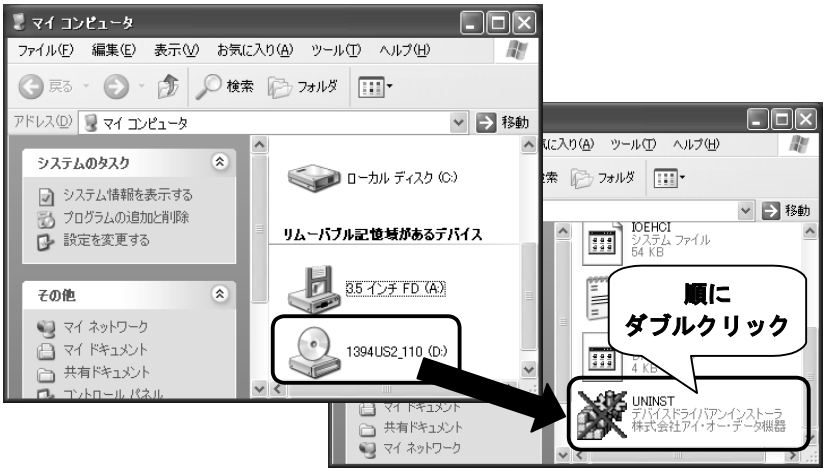
「サポートソフト」CD-ROM

3 [Uninst]（または[Uninst.exe]）アイコン 

を起動します。

[マイコンピュータ]→[CD-ROM ドライブ]（[1394US2_xxx]アイコン）→[UNINST]（または[UNINST.EXE]）を順にダブルクリックします。

※Windows XP の場合、[スタート]→[マイコンピュータ]→ [CD-ROM ドライブ]（[1394US2_xxx] アイコン）→ [UNINST]（または[UNINST.EXE]）を順にクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。



5 [OK] ボタンをクリックします。



以上で、「サポートソフト」は削除されました。

USB について

USB についての説明をします。

●USB [Universal Serial Bus] とは?

USB は、キーボードやマウスなどさまざまな周辺機器を接続するために利用されています。USB では、電源を切らずに USB 機器の抜き差し（ホットプラグ）ができます。
USB には、バージョン 1.1（1.0）とバージョン 2.0 があります。
1.1 は、Low, Full Speed に対応し、2.0 は Low, Full, High Speed に対応しています。
転送方式については以下をご覧ください。

●転送方式

本製品は、下表の転送方式に対応しています。
転送方式は接続する USB 機器によって異なります。

転送方式	スピード※1			主な用途
	High	Full	Low	
アイソクロナス	○※2	○	―	ビデオカメラやスピーカー
インタラプト	○※2	○	○	キーボードやマウス
バルク	○	○	―	プリンタやスキャナ
コントロール	○	○	○	デバイス制御用

※1 [High]スピードが利用できるのは、USB 2.0 のみです。
USB 1.1 では、[Full]および[Low]スピードのみ可能です。(USB 2.0 では、[High] [Full]および[Low]のすべてのスピードが可能)
※2 弊社製 USB 2.0 ドライバを使用する場合は、未対応となります。

最大スピード
High Speed = 480Mbps　Full Speed = 12Mbps　Low Speed = 1.5Mbps

転送方式の詳細
アイソクロナス転送：マルチメディア用に一定の帯域を保証する転送方式
インタラプト転送：定期的にUSB機器に問い合わせをする転送方式
バルク転送：不定期に行なわれる一般的なデータ転送を想定した転送方式
コントロール転送：USB機器の環境設定を行う転送方式

●電源による USB 機器の分類

USB 機器は、使用する電源により下表のように分類されます。

USB機器の分類		電源	消費電流
バスパワードデバイス	ハイパワーデバイス	USBポート	100～500mA
	ローパワーデバイス		100mA以下
セルフパワードデバイス		電源コンセント	―

●接続

本製品には、最大 127 台までの USB 機器が接続可能です。
ただし、USB ポートの数を超えて USB 機器を接続する場合は、別途「USB ハブ」が必要となります※。(USB ハブも USB 機器の 1 台となります。)
USB 2.0 機器を接続する場合は USB 2.0 ハブ、USB 1.1 機器を接続する場合は USB 1.1 ハブを使用します。
末端の USB 機器と本製品の間には最大 5 台までの USB ハブを接続することができます。

※ USB ハブを使用する場合、Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバをお使いください。
弊社製ドライバを使用した場合は、USB 1.1 ハブとして動作します。



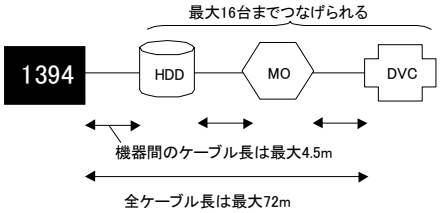
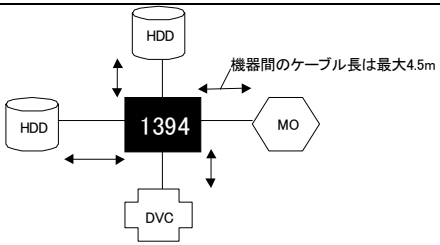
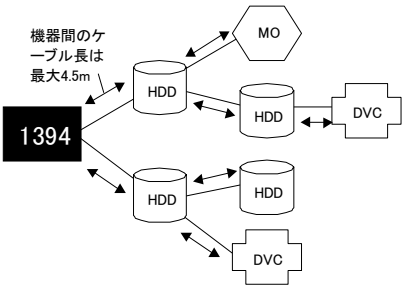
USBハブにUSB機器を接続する場合は・・・
USB機器をUSBハブに接続する際には、下の項目をご確認ください。
・USBハブが供給できる電力
・USB機器がUSBポートから消費する電力

1394 機器を２台以上接続する場合

ここでは、本製品に2台以上の機器をつなぐ場合の接続形態による制限事項等を説明します。

1394機器の接続方法

1394機器の接続方法には、デイジーチェーン接続、スター接続、ツリー接続があります。

接続方法	接続例
デイジーチェーン （機器同士を数珠状に接続する方法）	
スター （1394インターフェイスを中心にスター(星)状に接続する方法）	
ツリー （各機器から枝別れさせて接続する方法）	

1394 ：本製品などの1394インターフェイス

HDD ：ハードディスク

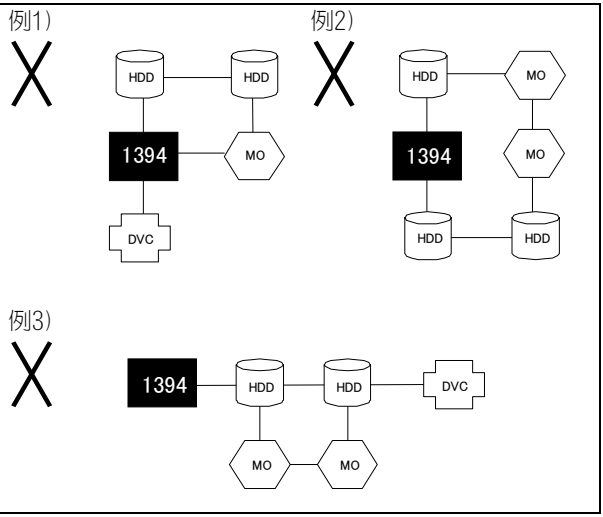
MO ：MOドライブ

DVC ：DVC（デジタルビデオカメラ）

以下の①および②の様な接続で機器を使用することはできません。

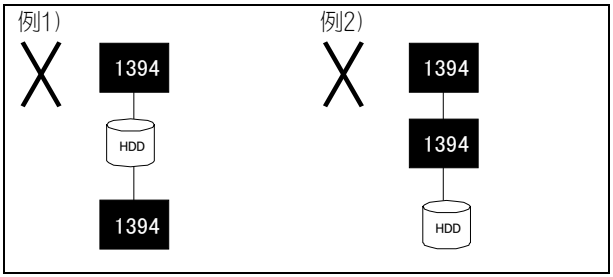
①ループ接続

ループ
（1394インターフェイスおよび機器間をループ状に接続する方法）



②ドライブ機器を複数のパソコンで共有して使用

下記のような接続の場合、基本的には先にハードディスクを認識したパソコンでしかハードディスクを使用することができない、もしくは両方のパソコンでアクセスができなくなる場合があります。



接続可能台数とケーブル使用可能本数

本製品には、最大63台の1394機器を接続できます。
（デイジーチェーン接続のみでは16台まで）

注意

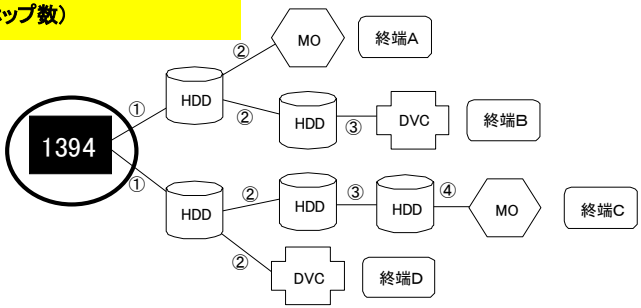
IEEE 1394の仕様としては1394機器を63台接続できますが、Windows側のドライブアサイン（ドライブ番号）の問題等で純粋にハードディスクなどのドライブ機器を63台つなげてもすべてを使用することはできません。

また、1394インターフェイスから終端の機器間で使用できるケーブル数は最大16本（最大16ホップ）です。

ホップとは？

ある単位の1394機器から他の1394機器をながめた時、中間に何台の機器がつなげられているかをカウントする場合に、使用する単位です。
実際には、中間の台数だけでなく、最後の１台もカウントに含めます。

本ボードから見たケーブル数（ホップ数）

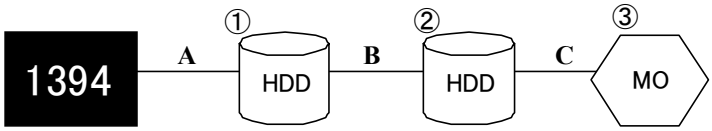


例えば、本ボードから
終端AのMOドライブまでのケーブル数（ホップ数）は2
終端BのDVCまでのケーブル数（ホップ数）は3
だと分かります。

複数の機器を接続中に取り外すには

パソコンに複数のIEEE 1394機器を接続している場合、取り外す際に注意が必要です。

下の図のように連続したIEEE 1394機器がある場合は、取り外す機器より後ろのIEEE 1394機器をすべて「停止」（取り外す前の作業）を行ってから、取り外してください。（詳細は、各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。）



例えば、①の機器のみを取り外す場合は、

1. ②と③を「停止」します。
2. ①を「停止」します。
3. Aを取り外します。
4. BをIEEE 1394ポートに接続します。

③を取り外す場合は、

1. ③を「停止」します。
2. Cを取り外します。

用語解説

本書内の用語を説明します。

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)[エーシーピーアイ]

Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPI は、電力管理を OS 側で一元管理します。ACPI 対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OS で管理することができます。

DV方式

HD デジタル VCR 評議会により標準化されたビデオ映像をデジタルデータの形式で圧縮しテープに記録する規格です。SD 仕様と高品位規格の HD 仕様があり、本製品では SD 仕様に対応しています。
この DV 規格は規格書の色から通称"Blue Book"と呼ばれることもあります。

DV-SD 仕様の特徴
　映像データ形式は YUV=4:1:1(NTSC)または 4:2:0(PAL)で圧縮率 1/5
　音声データ形式は 16bit/48KHz(2ch)と 12bit/32KHz(4ch)の2種類

DV端子

主に民生用の DV 機器に使われているデジタル映像の入出力端子で、4pin 形状のコネクタが採用されています。

IEEE 1394（アイトリプルイー）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術として Apple 社で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格です。
その規格番号から一般的に IEEE 1394 と呼ばれます。
SONY がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいます。

i.LINK（アイ　リンク）

IEEE 1394-1995 仕様およびその拡張仕様の名称として SONY が提唱している呼称です。

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。

	1394US2-PCI	1394US2-PCIL
使用する IRQ （割り込み）	PCI システムによる自動設定	
メモリアドレス	PCI システムによる自動設定	
動作温度※1	+5℃～+55℃	
動作湿度※2	20%～80%	
電源電圧	+5V、+12V	+5V
消費電流※3	5V 550mA（Max） 400mA（定格） 12V 150mA（Max） 50mA（定格）	650mA（Max） 420mA（定格）
搭載 USB ポート数	4 つ（外部 3+内部 1）	3 つ（外部 2+内部 1）
搭載 1394 ポート数	3 つ（外部 2+内部 1）	2 つ（外部 1+内部 1）
USB ポート 1 ポート当たり 供給電源※4	500mA(MAX)	
1394 ポート 1 ポート当たり 供給電源※4	1.5A※5	
本体サイズ※6	142.4(W)X96.0(D)mm	119.9(W)X64.4(D)mm

※1 パソコンの動作する範囲であること
※2 結露なきこと
※3 1394/USB ポートへの供給電流含まず
※4 お使いのパソコンの電源能力によっては、仕様を満たせない場合があります。
※5 バスパワーでご使用の場合は必ず電源ケーブルを接続してください。
※6 スロットカバー/コネクタ部含まず

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News その他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A
News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3688** 東京…**03-3254-1095**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

1394US2-PCI シリーズ取扱説明書
2003.04.14　111383-03
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町 3 丁目 10 番地

© 2002-2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。